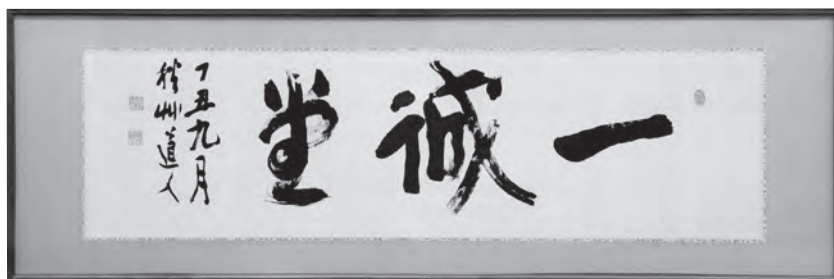


一誠堂古書目錄

令和七年十一月 第一三四号



會津八一氏書額「一誠堂」昭和 12 (1937) 年

『古書の買受けについて』

ご不要な書物などございましたら、ぜひ私共にご相談下さい。評価は各分野専門の係が、豊富な経験をもとに責任を持って行いますので、必ずご満足頂けるものと確信しております。

本のご処分、ご整理の際には、創業 120 年の伝統と信用を重んじる「一誠堂」を是非ご利用下さい。

一誠堂書店オンラインショップ

<https://www.isseido-books.co.jp/shop/>



新入荷品や在庫を閲覧、そのままご注文いただけます

一
誠堂古書目録



国際古書籍商連盟



日本古書籍商協会

和	全集・叢書	一
書	誌	一三
日	本	一九
政治・社会・経済・産業史	史	二二
対外・交渉史・切支丹	史	三七
東洋史・漢文学	記	四四
伝	記	五四
考古学・民俗・風俗	道	六六
宗	教	七二
神	道	八二
国語・国文学	道	九六
和歌・万葉・連歌・俳諧	道	九八
近代文学・評論	道	一〇九
芸能・演劇・映画	道	一一三
美術・複製	道	一一八
洋書（後表紙から始まります）	道	一二二

御 挨拶

日頃より格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
ございます。まもなく師走、慌ただしくなっておりますが、皆様益々ご清栄、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて弊社古書目録第百三十四号が出来上がりました。多少に拘らずご注文頂けましたら幸いです。

私共ではお客様本位のサービスに努め、皆様のお役に立つ書物・資料の収集、発掘に一層努力して参る所存でございます。今後ともご支援、ご鞭撻下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。
末筆ながら皆様どうぞ良い新年をお迎えになりますよう心より祈念いたしております。

令和七年十一月

一誠堂書店

酒井健彦

☆勝手ながら年末年始は十二月三十日（火）より一月四日（日）まで休業させて頂きます。

御注文について

☆掲載品はほとんどが在庫一部限りでございますので、なるべく早く御照会の上、前金にて御注文下さい。
☆官庁・学校・図書館等の御注文は前金を要しません。納品、支払いに要する書類等を御注文の際にご指示下さい。見計らいをご希望の場合はご相談下さい。

☆表示価格は全て総額表示（消費税込）となっております。

☆御送金は左記銀行口座振込又は郵便振替を御利用下さい。

みずほ銀行九段支店（当座預金）〇一〇〇五七六

三菱UFJ銀行神保町支店（当座預金）九〇二〇九八五

三井住友銀行神田支店（当座預金）二〇三四七四

郵便振替 〇〇一五〇一―二五二八―

☆店頭でのお支払いにつきましては各種カード及コード決済をご利用になれますのでお申し出下さい。

☆荷造費・送料は実費を頂戴致しております。

☆本目録掲載品以外にも多数在庫がございますので御探しの本がございましたら御遠慮なく御照会下さい。

営業時間 午前十時～午後六時半

定休日 毎日曜日・祝日

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一―七

電話 〇三（三三九二）〇〇七一（代）

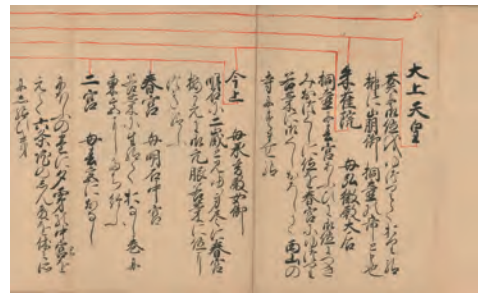
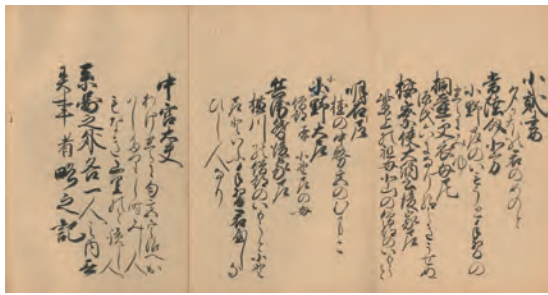
FAX 〇三（三三九二）〇〇九五

Eメール mail@isseido-books.co.jp

店舗二階（洋書・和本）直通 電話 〇三（三三九二）〇〇七二
FAX 〇三（三三九二）〇〇七六

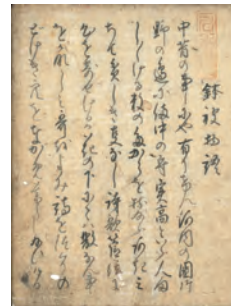
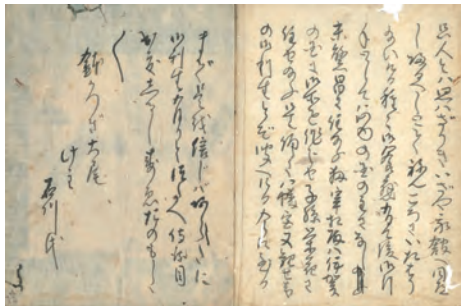
最寄駅 地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線「神保町駅」（出口A7・A5）

より徒歩約一分 JR御茶ノ水駅・水道橋駅より徒歩約十分



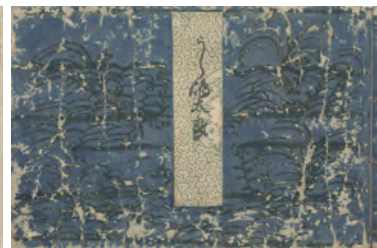
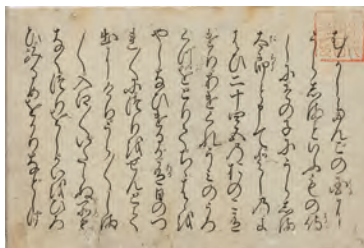
1 源氏物語系図 江戸前中期写 折帖

1 帖 198,000 円

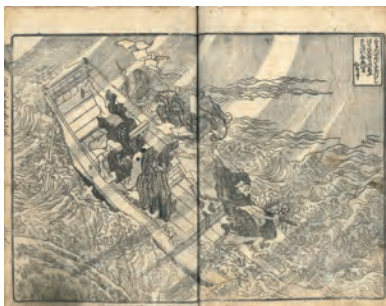
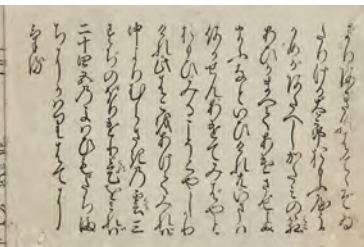


2 鉢被物語 江戸中後期石川某写 室町物語

1 冊 132,000 円

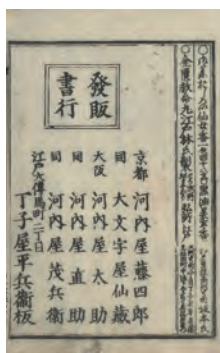


三
うらたま 御伽草子の内〔享保頃〕刊
〔渋川清右衛門〕版裏打補修
一冊 二四〇〇〇円



4 近世怪談霜夜星 柳亭種彦作 北斎画 文化5年刊 原装 数カ所に墨・擦痕有

5 冊 440,000 円



五
後日文章 読本
手本
談洲樓馬馬著 北斎画
文化五年序 (同六年) 刊
原裝 五冊 二四三,000円



六
南総里見八犬伝 読本 曲亭馬琴作
重信・英泉・貞秀画 明治刊
名山閣和泉屋古兵衛版 薄墨刷口絵入 原裝
一部少虫食有 一〇六冊 三三,000円



7 絵本豊臣勲功記 初編 八功舎徳水著 国芳画 安政4年刊
薄墨刷口絵入 10冊 66,000円



八
近世紀聞 染崎延房輯
永濯画 明治十五年再版
木版色刷口絵入 原裝上刷
全巻揃 二冊 四〇〇〇円

9 有喜世 旧観帖 初編 滑稽本
感和亭鬼武著 文化2年序刊
村田屋版 初版
1冊 88,000円



三
当世廓中掃除 洒落本
 玉水館著 盧橋庵校
 文化四年刊 半紙本 原裝
 五冊 二七五〇〇円



二
通神 三教色 洒落本
 唐米参和作 歌麿画
 (天明三年) 刊 改裝
 一冊 八三〇〇円



三
倡客敷学問 洒落本
 十返舎一九作・画 享和二年序刊 再刻後印本
 一冊 二四二〇〇円



二
太平楽巻物 洒落本
 天竺老人(森羅万象一世)著
 峯周画 天明頃刊 改裝
 原板本 一冊 四九五〇円



四
編後 吉原談語 洒落本
 桃猿舎大雉(十返舎一九)作・画 文化頃刊 初版
 一冊 五〇〇〇円



16 後編 **吉原談語** 洒落本 文化頃刊 中本後版
 花岡百樹旧蔵 1冊 27,500円



15 後編 **吉原談語** 洒落本 文化頃刊 小本後版
 改装元題簀付 花岡百樹旧蔵 1冊 30,800円

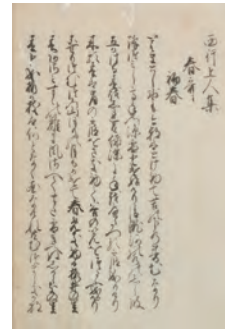
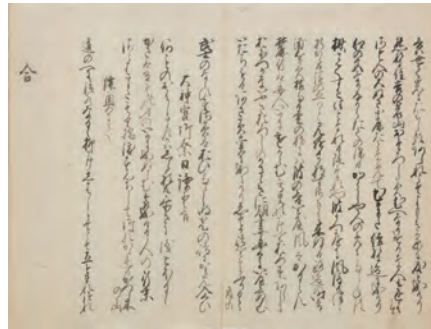
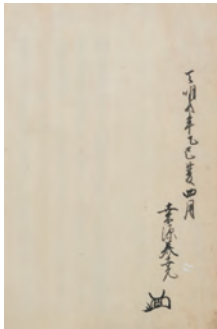




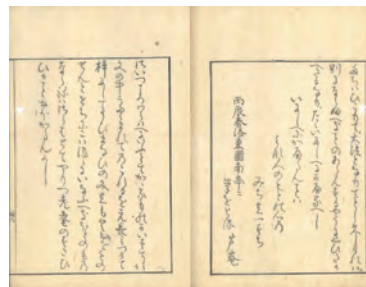
18 昇平鼓腹 三府膝栗毛 松村桜雨著 吟光画
明治14年刊 三編揃 木版 元袋付
3冊 60,500円



17 傾城情史 大客 酒落本 関亭京鶴述 天保3年刊 半紙本
少染み 1冊 55,000円



一九 西行上人集 天明五年写
第三種本 美濃判 一冊 三八五〇円



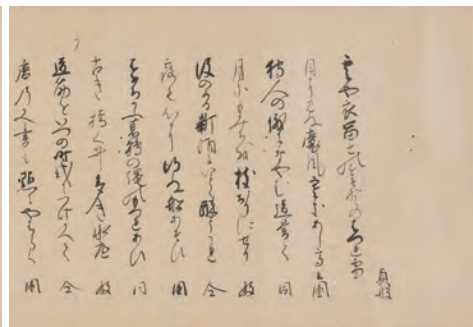
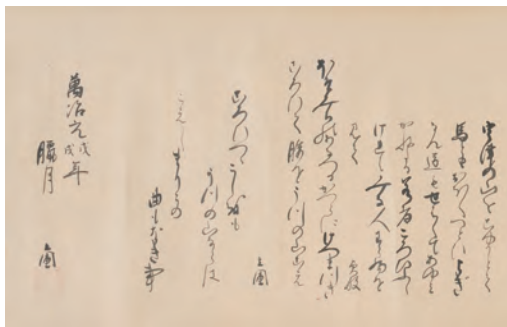
21 ふりわけかみ 小沢蘆庵著
寛政8年刊 和歌入門書 美濃判
原裝 1冊 6,600円



20 芳雲和歌集類題 武者小路実陰詠
実岳編 天明7年刊 六巻
薄葉刷 1冊 11,000円



(部分拡大)



25 貞般立圖両吟百韻 立圖自筆 万治元年臘月 紙高29.1cm

1巻 220,000円



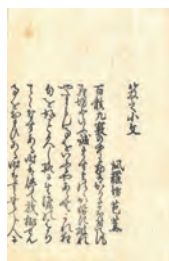
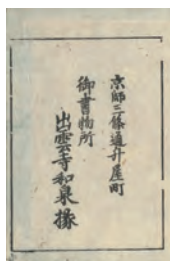
22 小倉百人一首かるた 江戸中期頃作 読札・取札各 100 枚揃 塗箱入 美 1組 242,000 円



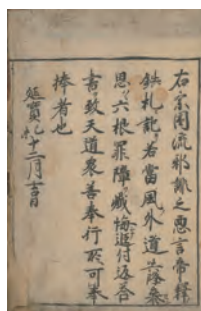
23 小倉百人一首かるた 江戸中～後期作 読札・取札各 100 枚揃 塗箱入 1組 88,000 円



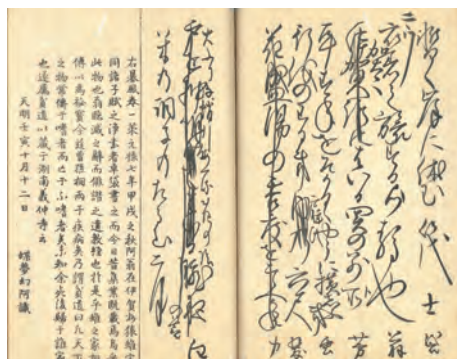
24 小倉百人一首かるた 江戸後期刊 読札・取札各 100 枚揃 木版彩色刷 箱付 1組 46,200 円



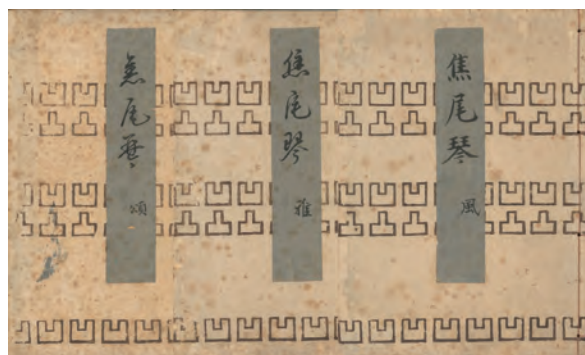
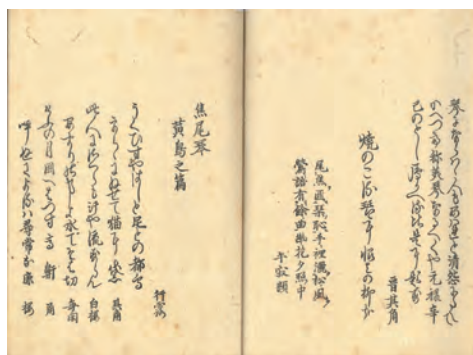
27 笈の小文 俳諧紀行 松尾芭蕉著
宝永6年詩仙堂蔵版 出雲寺和泉掾版
1冊 19,800円



26 誹諧破邪顕正 貞門談林論争書
随流著 延宝7年跋刊 半紙本
初版訂正本 1冊 63,800円



三
芭蕉門古人真蹟 蝶夢編
依今複製 寛政元年刊
淡彩色刷絵入 美濃判 原裝
二冊 四九五〇円



29 焦尾琴 其角編 元禄14年序刊 初版早印本 裏打有 3冊 110,000円



32 一茶百話 玄武坊述 其水等編 天明7年刊 美濃判 原裝
1冊 24,200円



30 焦尾琴 其角編 元禄14年序刊
初版後印本か 改裝 3冊 38,500円



三

風俗文選大註解

律甘介我著

玉井泉流等画 嘉永元年序刊

美濃判 一部淡彩色刷入

五冊 一〇〇〇〇円

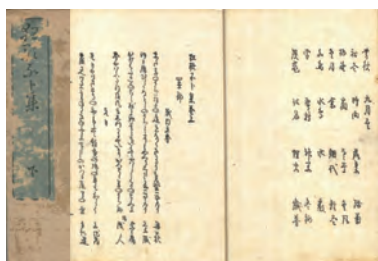
三

俳諧第一義集

鼻中庵三力著

寛政二年刊 俳論 美濃判

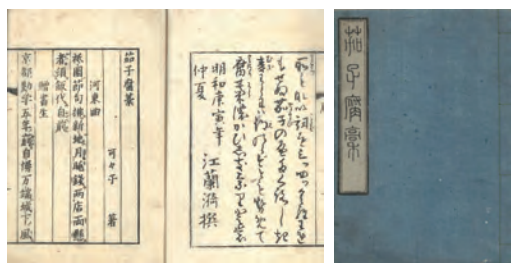
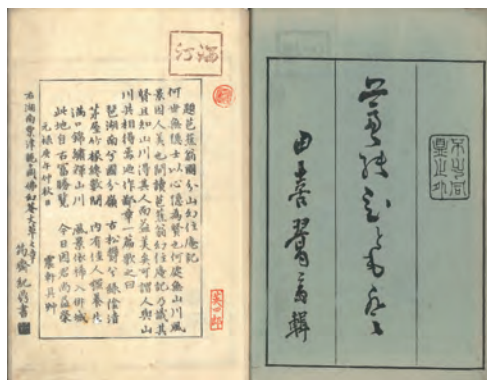
原装 二冊 三六三〇円



35 狂歌不卜集 便々館湖鯉鮒編
文化元年跋刊 中本 原装保存良
2冊 5,500円



34 蘆の一もと 芭蕉『幻住庵記』注釈 田喜庵護物輯并蔵版 北斎為一画 文政10年刊
美濃判 原装 1冊 46,200円



39 茄子腐葉 狂詩 可々子著 明和7年刊
1冊 16,500円



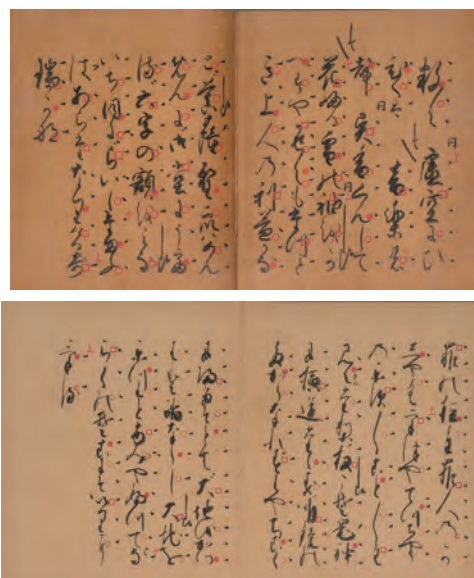
36 俳諧歌清凉集 鹿都部真顔追善狂歌集
狂歌堂撰 北溪画 天保12年序刊
半紙本 少虫食補修 1冊 26,400円



三七
歌狂
列仙画像集
北斎・北雅画
半紙本
五車亭 龜山撰
江戸後期刊
一冊 二五〇〇円



三八
えぐちあいぶくべのつる
画口合瓢之蔓
雲和亭 湖龍撰
嘉永四年刊
原裝上本
半紙本
三冊
松川半山画
彩色刷入
七四八〇円



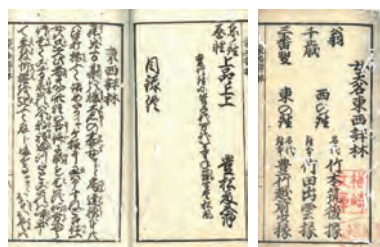
40 謡 本 六十九番 江戸初期写 一番綴 節付あり 下掛本 伝福王家旧蔵



69 帖 1,980,000 円



四五
諸礼集 小笠原長時・貞慶編
寛永十年刊 元の丹表紙付
七卷合本 五冊 三三〇〇円



41 女大名東西評林 浄瑠璃評判記
宝暦8年刊 小型縦長本 原裝
虫食有 1冊 33,000円



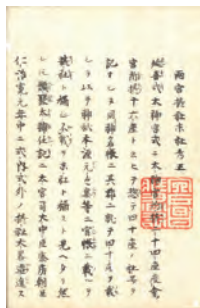
四三
けいせい羅衣辻 絵本番付
笠縫專助・斎馬雪作
〔天明三年〕市村座刊
一冊 四二八〇円



四三
男山娘源氏 絵本番付
笠縫專助・瀬川如皐作
〔天明五年桐座〕刊
半丁・絵に色差し有
一冊 三八五〇円



四四
雲井花芳野壯士 絵本番付
金井三笑作 豊丸画
〔天明六年中村座〕刊
一冊 五二八〇円



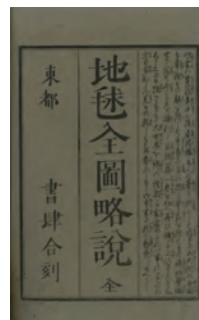
四六
神風小鑑拔書 同後編拔書共
神社・地誌〔秦貞恒〕著
寛保三・延享三年中里任重写
美濃判 二冊 二七五〇円



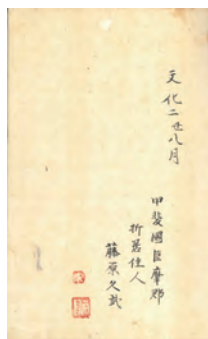
48 頭書 訓蒙図彙大成 事典
下河辺拾水画 寛政元年刊 半紙本
二十一巻目録一卷揃 合本
5冊 77,000円



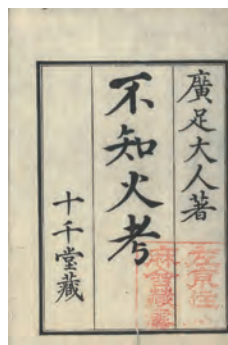
四九 能島流水軍書一括 江戸後期上写 筆彩色図多数 一五冊 四八〇〇円



51 地球全図略説 司馬江漢著 幕末頃刊 外題「万国略説」
美濃判 原装上本 3冊 198,000円



47 (神●内講聞書)
文化2年藤原久武写 半紙本
筆彩色絵入 1冊 27,500円



59 不知火考 中島広足著 天保6年跋刊 色刷口絵入
1冊 55,000円



五〇 許官 新刊輿地全圖 佐藤政義訳図 文久元年刊 木版彩色刷
一三八・五×一三七糎 佐野鼎・杉徳輔(孫七郎)旧蔵
特装 一舗 四八〇〇〇円



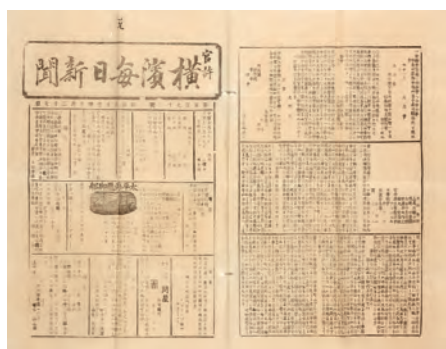
54 〔非常便要図〕 寛政4年作 紙本彩色上写
38.3×52.7cm 少虫食補修有 1舗 71,500円



53 〔日光東照宮靈廟之図〕
天保3年源守緒写 紙本彩色
115×84cm 1舗 49,500円



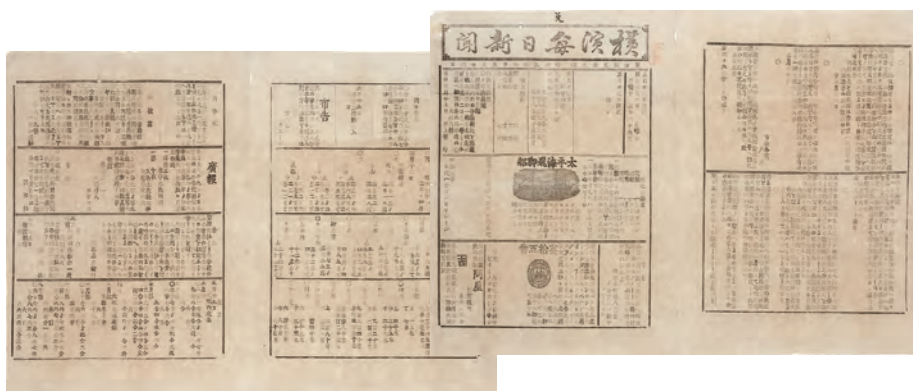
五 武蔵第一名所角田河絵図 並故跡附
野々山縦山画 江戸後期刊
三二・七×七〇・七糎
少虫食補修有
一舗 三八五〇〇円



57 横浜毎日新聞 第五百九十二号
明治5年10月27日 片面刷2面 活版刷
1枚 41,800円



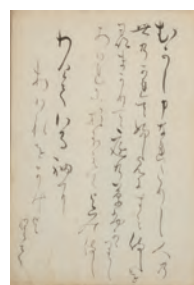
52 北越雪譜 鈴木牧之著 山東京山校 京水画
天保7・13年刊 薄墨刷入 7冊 495,000円



五
横浜毎日新聞 第四百五十九号
明治五年五月廿六日 表裏全四面
活版刷 一枚 四〇〇〇円



五八
美濃郡人跡路程図 児島慎識 文政六年刊
木版彩色刷 四五・五×六三・五厘
一舗 六〇五〇円



60 西行物語絵巻 卷三 江戸後期写 伝橘千蔭手沢本 美濃判四ツ目綴じ

1冊 41,800円

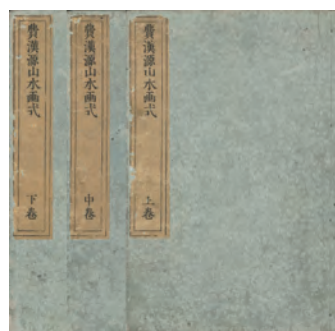


61 佐州金山鑿穿之図 江戸後期頃写 紙本彩色 長巻 紙高26.7cm

1巻 2,200,000円



62 費漢源山水画式 鈴木芙蓉模画 寛政元年刊 美濃判



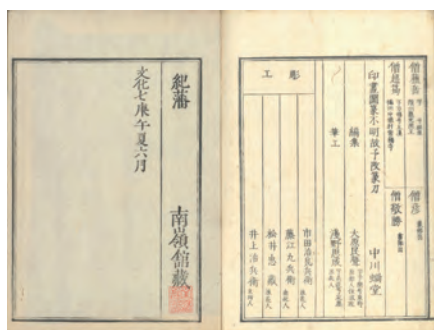
3冊 52,800円



65 文鳳画譜 三編 文化10年刊 淡彩色刷 1冊 77,000円



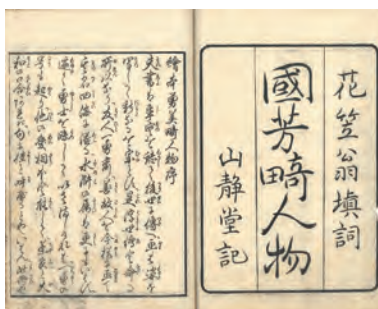
63 楠亭画譜 享和4年刊 美濃判
賀茂季鷹等狂歌入 3冊 99,000円



64 名数画譜 大原東野編 文化7年刊 美濃判 原裝 一部分色刷入 三巻附録一卷



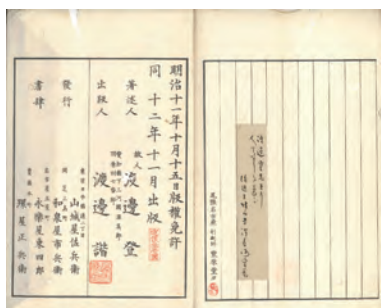
4冊 132,000円



66 日本奇人伝 花笠文京著 国芳画 嘉永頃刊 半紙本 薄墨刷入 上下二巻合本 1冊 198,000円



六七 英名百雄伝 初・二・三編
近沢幸山撰 貞秀画
文久三年刊 淡彩刷入
揃 三冊 三十五〇円



六八 一掃百態 渡辺華山画
明治十二年刊 淡彩色刷入
大本 元の香色絹表紙
一冊 六、〇〇円



七〇 太平記英勇伝
種員記 国芳画 嘉永頃刊
縁僅か傷み 一枚 四、二〇〇円



六九 太平記英勇伝
種員記 国芳画 嘉永頃刊 一枚 四、二〇〇円

71 太平記英勇伝 合郷基左衛門久盈
種員記 国芳画 嘉永頃刊
縁少傷み 1枚 44,000円



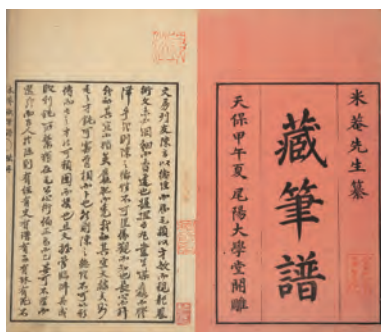
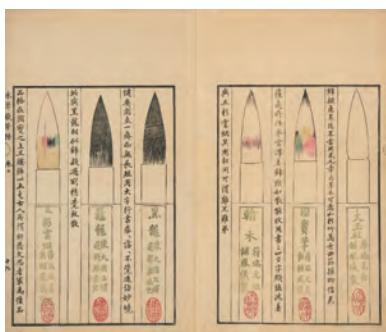
77 飲食養生鑑 江戸後期刊 木版彩色刷
元袋付 1枚 308,000円



73 太平記英勇伝 荒儀摂津守村重
種員記 国芳画 嘉永頃刊
縁僅か傷み 1枚 41,800円



72 太平記英勇伝 四王連左司馬頭政高
種員記 国芳画 嘉永頃刊
縁少傷み 1枚 44,000円



九
米庵藏筆譜 市河米庵編
天保五年刊 彩色刷入
上刷 二冊 七六八〇〇円



七
〔曾我義経御所染〕 国貞画
元治元年刊 少トリミング
三枚続 一組 四六二〇〇円



六
武州横浜於応接所饗応之図 嘉永七年頃刊
瓦版 三色刷入 四七・七×三四・二種
一枚 一五〇〇〇円



五
横浜本町港崎町振分双六 五雲亭貞秀画
万延元年十月刊 横浜浮世絵 木版彩色刷
七三・七×四九・五種 一枚 三〇〇〇〇円



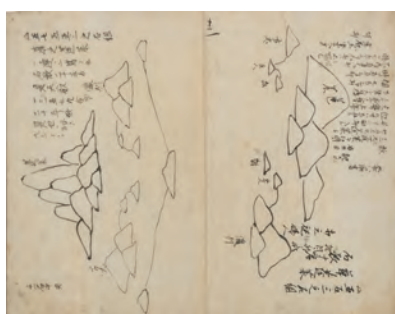
六
繪泥 毛利家上杉家上屋敷
江戸後期頃作 紙本着色
二二・五×三〇・五種
額装 一面 六〇五〇〇円



〇
〔奥山の書〕 庭園
弘化三年奥山盤里写 美濃判
一冊 三五二〇円



82 製葛録 大蔵永常著 北馬画 文政13年刊 半紙本
1冊 88,000円



81 庭相秘伝書 江戸後期写 美濃判
図多数 1冊 8,800円



85 古今新製 菓子大全 上 長谷川良隅編
鶏鳴画 天保10年序刊 一部筆彩有
古今名物御前菓子図式の改題本
1冊 33,000円



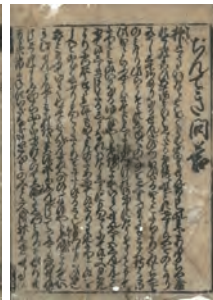
83 竹実記 白雲山人著 菱川清春画 天保3年刊
「残花書屋」旧蔵黒印有 1冊 63,800円



84 本草図譜 岩崎常正(灌園)著 大正5~10年刊 索引共揃 和装木版及活版 原装上本 95冊 1,650,000円



八
拳会角力図会 義浪・吾雀編
松好齋画 桃溪校 文化六年刊
美濃判 一部少虫食
二冊 三,000円



七
ぢんてき問答 江戸中期刊
鱗形屋孫兵衛版 中本
一冊 八,000円



91 百人一首姫小松 往来物 明治初期頃刊
原装 厚冊 彩色刷口絵一丁入
1冊 14,300円



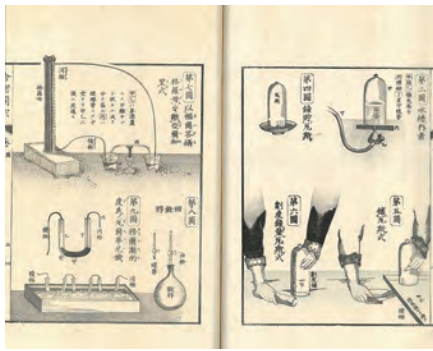
89 女教万宝全書東鏡 往来物 明治初期頃刊
新潟・弦巻本店等版 原装 厚冊
彩色刷口絵入 1冊 30,800円



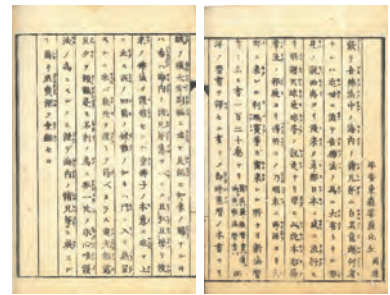
88 長命になるの伝受 文化14年刊
版元吉田屋新兵衛の店先国入
原装 裏打補修 2冊 17,600円



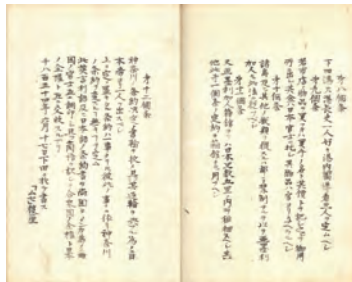
90 女教大全姫文庫 往来物 明治初期頃刊 厚冊
色刷元袋付 序及彩色刷口絵一丁欠 1冊 27,500円



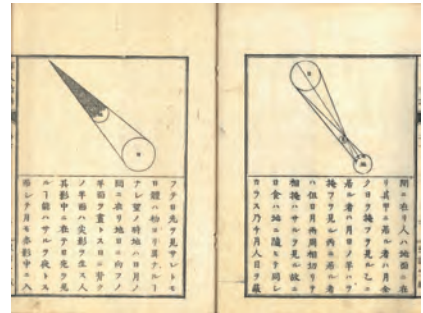
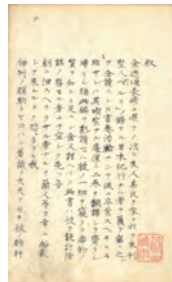
五
含密開宗 W・ヘンリー著
宇田川榕庵重訳 天保八年刊
内篇十八冊外篇三冊揃
淡彩色刷絵入 原裝上本
二冊 四九五〇〇円



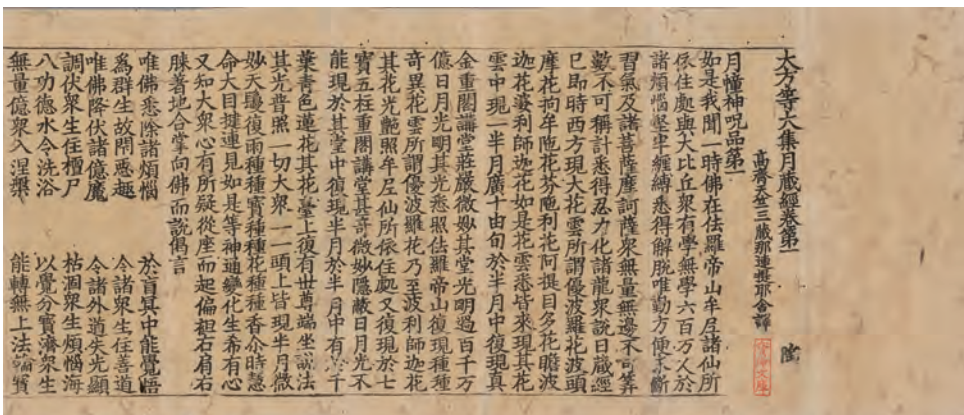
92 梵曆策進 仏教天文学 円通著
江戸後期刊 原裝 1冊 35,200円



95 日本紀行訳本 ベリー原著 江戸末期写
上下二巻揃 1冊 84,700円

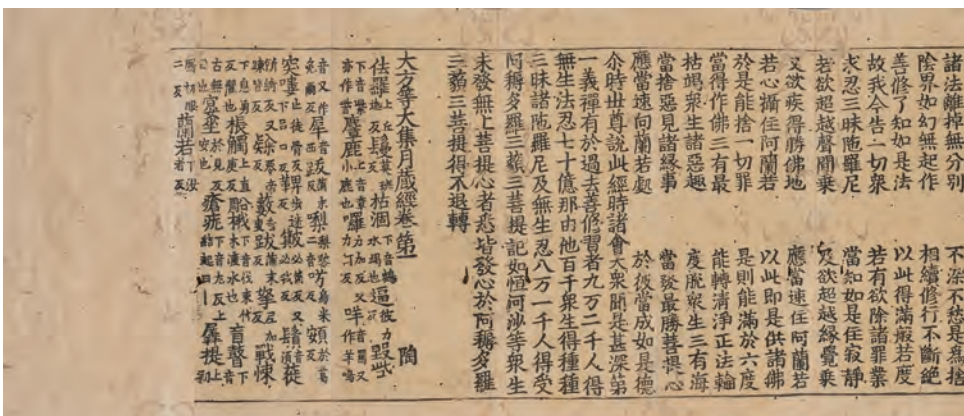


93 渾天新語 河野通礼編 文化6年刊
美濃判 原裝 2冊 46,200円

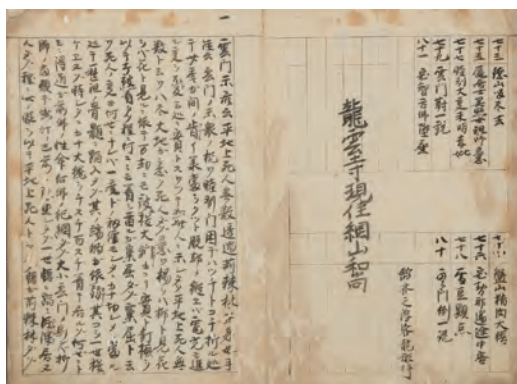
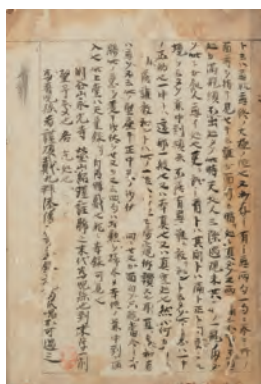


六
大方等大集月蔵經卷第一
鎌倉後期頃刊か 折帖

高齊天竺三藏那連提耶舍譯 思溪版模刻

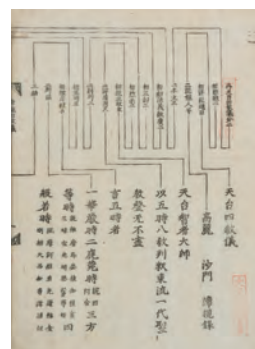
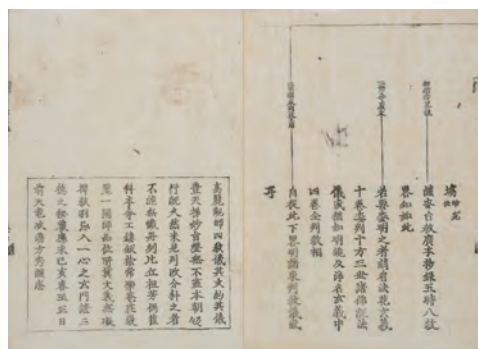


一帖 二二〇〇〇〇円



97 〔禅家八十一則仮名抄〕 室町末江戸初期写 ゾ式カナ抄 小汀利得旧蔵

1冊 638,000円



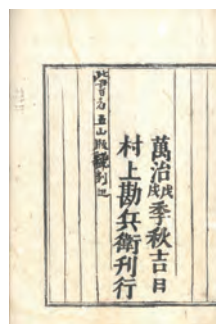
九
天台四教儀 高麗・諦観録
寛永三年極月刊 本能寺露閑版
応永二十六年原刊記あり
一冊 一九八〇〇円



九
仏果園悟真覚禅師心要 子文編
寛永頃刊 覆五山版 上下巻揃
少虫食 四冊 八八〇〇円



101 仏果園悟禅師碧巖録 江戸前期正保頃刊
中野是誰版 十巻揃 訓点附刻 書入れ有
5冊 33,000円



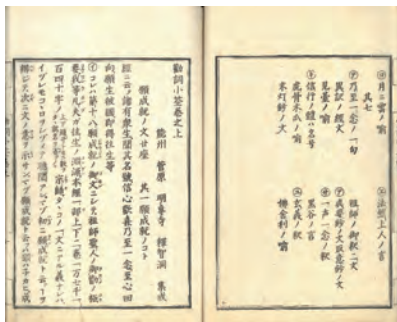
100 仏果園悟真覚禅師心要 子文編 万治元年刊
暦応四年原刊記有 上下巻揃 少虫食
2冊 30,800円



103 原人論發微録 浄源述 〔寛永頃〕刊
訓点附刻 元の栗皮表紙付 一部染み有
1冊 38,500円



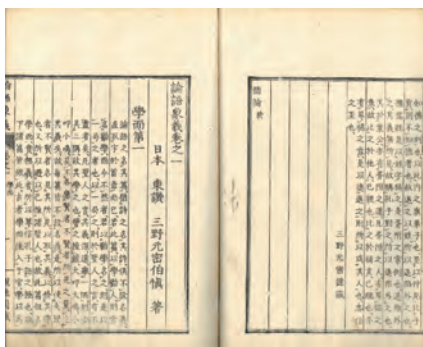
102 感山雲臥紀談 暁瑩撰 〔寛永中〕刊
覆五山版 貞和2年原刊記有 原装
少後印 上下巻揃 1冊 33,000円



一〇五
勸詞小笥 菅原智洞集成
明和六年序刊 カナ抄
外題「真宗安心勸詞小笥」
三冊 一三,000円



一〇四
学道用心集 道元
〔寛文頃〕刊 訓点附刻
水染み・少虫食
一冊 二七,500円



一〇六
論語象義 三野象麓著
文化十年刊 美濃判 原装
読杜艸堂旧蔵
七冊 一三,000円



108 儒釈筆陣 独庵玄光・田中止邸文
天和2年刊 原装 1冊 38,500円



107 孔子履歴考 伝記 角田九華著 嘉永2年刊
半紙本 原装 一部少虫食 2冊 38,500円



109 古列女伝 漢・劉向撰 承応2・3年刊 続・新統共揃 訓点附刻

11冊 253,000円



二〇 三体詩素隠抄 寛永十四年刊
ゾ式カナ抄 美濃判 原装
少虫食有 一三冊 二四二,000円



二二 唐詩選五言絶句かるた 江戸後期刊 嵩山房版
読札・取札各七十四枚揃 木版彩色刷 原装美品



一組 三三,000円

和本本

一 源氏物語系図

江戸前中期写
折帖

一帖 一六、〇〇〇

表紙の大きさ一八・二×一一・六糎。白茶色表紙付、外題及び内題なし。本文はやや厚手の斐楮交漉料紙。流麗な筆跡で表裏両面に書写。保存は良好。「太上天皇」より「兵部大輔」に至る系図、および「中務宮」より「中宮大夫」までの一人系図。末に「系圖之外各一人之内無異事者略之記」の一文があり、ほかに奥書などは見られない。各人物に簡略な解説を施し、必要に応じて朱筆の系線や△点を付す。写真版一頁参照

二 鉢被物語

江戸中後期石川某写
室町物語 枳形本

一冊 二三、〇〇〇

大きさ一七・五×一四糎の枳形本、四ツ目綴じ。藍色表紙中央に「はちかつき物語」の書題簽有。内題「鉢被物語」、尾題「鉢かつき」。本文楮紙、全三十四丁半。每半葉八行書き、上下巻の区切りはない。僅か虫食あるも保存は良好。巻末に本文と同筆で「此主／石川氏」の旧蔵墨書、又巻頭に「石川●」（一字不明）の旧蔵朱印がある。本文は版本系統だが、比するに長谷観音に加えて（壺井）八幡宮の名を併記するなど異なる語句を用いたり、表現の冗長な部分を省略したりするような傾向も見られる。写真版一頁参照

三 うら嶋太良

〔享保頃〕刊〔渋川清右衛門〕版
御伽草子の内 絵入

一冊 二四、〇〇〇

大きさ一五・〇×二三・二糎の横本。元の模様刷入り藍色表紙（少擦れ）中央に唐紙の元題簽「うら嶋太良」付。本文少虫食があり裏打補修済み。「東尾堂図書印」（所用者不明）の旧蔵朱印有。写真版一頁参照

四 近世怪談霜夜星

柳亭種彦作 葛飾北斎画
文化五年刊 山崎平八等版
読本 薄い水染み・少手擦れ有

五冊 四〇、〇〇〇

半紙本。元の支子色表紙（ツカレ有）に元題簽「怪談霜夜の星 一（二・五）」「怪談しもよのほし 二（四）」、絵入元見返し付、但し第二・三・四の各巻の見返し紙破れ。五巻末に『阿波鳴門』及び『総角物語』予告の入った三都四書肆名ある文化五年正月の刊記有（少傷み）。初刷本ではないが、挿絵の一部に薄墨刷又は砥粉刷入。惜しくも画中の顔部分数カ所に墨・擦痕がある。

写真版一頁参照

和本本

五 仮名後日の文章

談洲樓焉馬著 葛飾北斎画
文化五年序（同六年）刊
丁子屋平兵衛等版 読本

五冊 二四、〇〇〇

半紙本。元の緑色表紙（縁少擦れ）に元題簽「假名／手本 後日の文章 卷之一（一・五）」完備。本文下部に少手擦れ汚れあるほかは保存は良好。著者焉馬の自作浄瑠璃『仮名手本二度目清書』を読本化したものと云う。当該本は丁子屋平兵衛等による版行で刷り自体は悪くないが、挿絵に薄墨刷を施した角丸屋甚助による初刷本の存在が知られる。「羽州澤畑堀米四郎兵衛蔵書」（堀米四郎兵衛）の旧蔵黒印あり。写真版二頁参照

六 南総里見八犬伝

曲亭馬琴作 重信・英泉・貞秀画
明治刊 名山閣和泉屋吉兵衛版
薄墨刷口絵入 一部少虫食有

一〇六冊 三六、〇〇〇

半紙本。犬絵模様を藍・緑の二色にて刷出した元表紙に元題簽を完備。本文一部に朱点書入有。「常松蔵書」（所用者不明）等旧蔵朱印有。写真版二頁参照

七 絵本豊臣勲功記 初編

八功舎徳水著 一勇斎国芳画
安政四年刊 吉澤氏蔵版
和泉屋市兵衛等版 薄墨刷口絵入

二冊 六、〇〇〇

半紙本。瓢箪唐草地に三家の家紋をあしらった空押模様入りの翡翠色元表紙に元題簽「繪本豊臣勲功記 初編 壹（一五、七〇十）」（第六冊の一枚を欠く）、黄色元見返し付。雲母引き風の上質な料紙一丁を遊び紙として入れ、薄墨刷口絵三丁が続く。本文一部に僅か虫食あるも刷り・保存共は良好。本書シリーズの刊行は九編までであるが、当該第十冊末には刊記半丁に続いて版元甘泉堂による十二編までのあらすじ入り予告二丁半が付されており、当初の刊行計画をうかがい知ることができる。写真版二頁参照

八 近世紀聞

染崎延房輯 鮮斎水濯画
明治十五年再版 金松堂辻岡文助版
全十二編各三巻揃 木版色刷口絵入
原装上刷

三冊 四〇、〇〇〇

半紙本。元の空刷模様入黒表紙（初冊のみ少擦れ）に銅板刷の元題簽「染崎延房編輯／近世紀聞 初（一十二大尾）」と各編の内容を記した銅板刷の副題簽、初冊に黄色元見返し完備。数丁に僅か虫食あるも刷・保存良い上本。各編巻頭に小林永濯画の色刷口絵があるほか、本文にも墨刷挿絵多数有。

写真版二頁参照

和本

九有喜世
物真似旧観帖初編

感和亭鬼武著 文化二年序刊 初版
村田屋治郎兵衛版
滑稽本 絵入

一冊 八、〇〇〇

四編吉原談語

桃猿舎大雄（十返舎一九）作・画
文化頃刊
酒落本 初版 一名「夜廓行燈」

一冊 五、〇〇〇

本の大きき一九×一三・四釐。元と思われる鈍色表紙、題簽剥落跡に書名を墨書き。自序二丁、目録半丁、口絵見開き一丁、本文三十七丁半、うち挿絵見開き三図、片面一図入り。末に童子節用大全より膝栗毛五編までを収めた村田榮邑堂新版目録一丁（最終行に「東都書林榮邑堂通油町村田屋治郎兵衛版」の刊記入り、年号なし）を付す。僅かな染みあるも保存はば良。一顆旧蔵朱印有。当時の戯作は貸本屋に利するよう一部を改変、または分合されるなどして再版されることが多くあった。本書も村田屋とは異なる別の書肆が大幅に増補改訂し三編各三巻九冊本としてのちに版行したことが知られる。当該本は初版であり作者鬼武オリジナルの本文を有する点で貴重である。写真版二頁参照

二通神
孔釈三教色

唐来参和作 喜多川歌麿画
〔天明三年〕刊
酒落本

一冊 八、五〇〇

小本。改装布目空押模様黄土色表紙に「三教色 全」「唐来参和著」と打付け書き有。本文僅か虫食あるほかは保存良い。奥付は残っていないが、序・挿絵に覆刻版の特徴は有しない。裏見返しに「小木曾氏」「信陽山人（二顆朱印有）」の墨書き有。写真版三頁参照

二太平楽巻物

天竺老人（森羅万象一世）著
峯周画 天明頃刊
酒落本 原板本

一冊 四、五〇〇

小本。改装白茶色表紙に「太平楽巻物 全」と打付け書き有。口絵の人物の帯部分に少墨書入れあるほかは保存良。「吉郎蔵印」「京都府山城綴喜郡八幡森之町森本信富（共に所用者不明）の旧蔵朱印有。本書には大別して「原板本」「六々部集板本」の二種あることが知られる。写真版三頁参照

三倡客敷学問

十返舎一九作・画 享和二年序刊
酒落本 再刻後印本

一冊 二四、三〇〇

元の沙綾空刷模様入り黄色表紙（少疲れ）に元題簽（少破れ）付。巻頭の数丁の構成を改め、かつ中本に仕立てた再刻後印本。一部少墨塗り入。写真版三頁参照

三当世廓中掃除

玉水館著 盧橋庵校
近江屋伊兵衛等版
酒落本 絵入

五冊 二七、〇〇〇

半紙本。元の金茶色表紙に元題簽「當世廓中掃除 一（一五）」、藍刷元見返し（少墨書き有）付。本文一部に僅か染みあるも保存はば良。京都島原を舞台にした洒落本で、日本語史研究の資料としての価値を有する。写真版三頁参照

二

小本。薄茶色元表紙に題簽の剥落跡あり。口絵一丁入り。当該品は凡例の匡郭が上下双辺の初版。数丁に僅か水染み、喉に僅かな虫穴あるほかは刷、保存共良い。写真版三頁参照

五編吉原談語

桃猿舎大雄（十返舎一九）作・画
文化頃刊
酒落本 小本後版 一名「夜廓行燈」

一冊 三、八〇〇

小本。改装薄茶色表紙に黄色元題簽「青楼吉原談語 全」付。改刻の後版本。保存はば良。「百樹の」（花岡百樹）他一顆旧蔵印有。写真版三頁参照

六編吉原談語

桃猿舎大雄（十返舎一九）作・画
文化頃刊
酒落本 中本後版 一名「夜廓行燈」

一冊 二七、五〇〇

中本。元の布目模様水色表紙に黄色元題簽「青楼吉原談語 一篇 全」付。改刻の後版本で、前掲書のさらに後刷か。本文少虫食、下部僅か手擦れ有。「百樹の」（花岡百樹）他一顆旧蔵印有。写真版三頁参照

七傾城大情史

客

関亭京鶴述 天保三年刊
和泉屋庄次郎等版
酒落本 半紙本

一冊 五、〇〇〇

元の黄色表紙に元題簽「傾城情史 大客 完」（蔵印刷り消し跡有）、元見返し付。本文巻頭に題簽と同一印と思われる刷り消し、上部ノドに少染みあるも虫食はない。本書はその見返しに「此書八百年先生の經典余師にならひ」と刻すように「經典余師 大学」をもじってつくられた洒落本。写真版四頁参照

八昇平鼓腹三府膝栗毛

松村桜雨著 吟光画
明治十四年刊 網島亀吉版
三編揃 木版 元袋付

三冊 六、五〇〇

各編三冊及び色刷絵入の元袋を一冊に合本。元の擦り付け表紙、元見返し完備。淡彩刷口絵入。第三編ノドに少虫食あるも丁寧な補修済み、刷り保存はば良。写真版四頁参照

一西行上人集

天明五年写
第三種本

一冊 六、五〇〇

美濃判。空刷模様入り青緑色表紙に墨流し料紙の書題簽「西行集」付。内題は「西行上人集」。每半葉十行書き、墨付全五十丁。末に「天明五年己巳夏四月／桑源美堯（花押あり）」の書写奥書有。本文は第三種（流布本）の系統にあたる。一部欄外に僅か虫穴あるも保存はば良。写真版四頁参照

三 芳雲和歌集類題

武者小路実陰詠 実岳編 天明七年刊 一冊 二、〇〇〇
武者小路家蔵版 出雲寺和泉掾・文治 郎版 六卷 薄葉刷

大きめの中本。絹張表紙（擦れ傷み有）。に金紙書題簽付。武者小路家蔵版印のほか、二顆旧蔵朱印有。写真版四頁参照

三 ふりわけかみ

小沢蘆庵著 寛政八年刊 一冊 六、六〇〇
吉田四郎右衛門版 和歌入門書

美濃判。元の薄水色表紙（やや擦れ）に元題簽「ふり分かみ 全一付。本文一部に少染み、欄外に僅か虫食有。「八幡寺内裏門筋養素館」「正明之印」「蘆乃舍夢佛」（以上三顆所用者不明）等の旧蔵朱印有。写真版四頁参照

三 小倉百人一首かるた

江戸中期頃作 読札・取札各百枚揃 塗箱入 美 一組 二四、〇〇〇

札の大きさ七・五×五・〇糎。読札は美しい手彩色を施した歌仙絵と上の句を緑色地の取札には下の句を墨書。共に金泥下絵入り、金砂子をまき、裏一面は金張り。付属の塗箱に中綿の布帛を被せた豪華なつくり。五枚に僅かな虫穴あるも保存はば良。写真版五頁参照

三 小倉百人一首かるた

江戸中後期作 読札・取札各百枚揃 塗箱入 一組 八、〇〇〇

札の大きさ八・二×五・六糎。絵はなく、上の句（歌人名入り）・下の句の優美な墨書字札各百枚。共に銀泥下絵入り、金砂子をまき。上の句は裏一面を薄い金泥、下の句は銀泥にて塗る。慥貪塗箱入り。保存良。写真版五頁参照

三 小倉百人一首かるた

江戸後期刊 読札・取札各百枚揃 木版彩色刷 一組 四、二〇〇

札の大きさ六・九×四・八糎。読札には歌仙絵と上の句、取札は下の句を収める。共に木版彩色刷、裏面は灰色刷。黒塗りの杉箱及び明治頃作の帙付。保存はば良。写真版五頁参照

三 貞般立圃両吟百韻

立圃自筆 万治元年臘月 一巻 三〇、〇〇〇

紙高二九・一糎。後代の綴子表紙に金紙書題簽「百吟連歌 野々口立圃筆」、金紙元見返し付。貞般発句「雲や衣富士のすそ野のはつれ雪」の両吟百韻に続き、「一とせあまり武府にゐて同じ所にかたひける人々あまたある中に伊香氏貞般は……」で始まる立圃自らによる回想文（末に兩名の歌入り）を収める。巻末に本文と同筆で「萬治元戊戌年／臘月 立圃 印（松翁）朱印」の奥書あり。一部に僅か虫穴あるも保存はば良。写真版四頁参照

和 本

三 誹諧破邪顕正

随流著 延宝七年跋刊 一冊 三、八〇〇
貞門談林論争書

半紙本。空刷模様入り丹表紙（元か、少疲れ）に別途元題簽を和紙に複写したものを補配。本文欄外に薄い水染み、僅か汚れあるも保存はば良。延宝期に展開された貞門対談林の論争中に刊行された一書。高政著『誹諧中庸姿』を難じた書で、本書への反論として『是天道』等の諸書出版が相次ぎ、論争の続く一因となった。本書には初版本とそれを埋木訂正した初版訂正本のあることが知られ、当該書は初版訂正本である。写真版六頁参照

三 笈の小文

松尾芭蕉著 宝永六年詩仙堂蔵版 橋屋治兵衛等三書肆版 出雲寺和泉掾求版 誹諧紀行 一冊 一六、八〇〇

半紙本。元の布目空押模様入り藍色表紙中央に「笈の小文 全」の元題簽付。末に浦井徳右衛門・井筒屋庄兵衛・橋屋治兵衛連名の刊記ある第二次覆刻本で、さらに裏見返しに出雲寺和泉掾の刊記があり弘化嘉永頃の刷か。本文の保存は良好、二顆旧蔵朱印あり。写真版六頁参照

三 芭蕉門古人真蹟

蝶夢編 依今複製 寛政元年刊 井筒屋庄兵衛・橋屋治兵衛・同儀兵衛版 二冊 四、五〇〇

美濃判。元の洪引き表紙（緑僅か傷み）中央に元題簽「芭蕉門古人真蹟 天（地）」（一部少擦れ）付。芭蕉没後九十周年を機に蕉門古人の真蹟を蝶夢が十年以上の歳月をかけ蒐集、天明二年に成り義仲寺の什物としたものを、門人の依兮が複製を企図、題を付し自序を加えて寛政元年に出版したもの。本文一部に少虫食、巻初に「防州久賀阿彌陀寺」「法王精舎」の旧蔵黒印有。写真版六頁参照

三 焦尾琴

其角編 元禄十四年序刊 三冊 一〇、〇〇〇

大きさ二三・一×一六・八糎の半紙本。茶色の凸凹模様刷入り白茶色元表紙中央に鼠色元題簽「焦尾琴 風（雅・頌）」を完備し、最終冊末に刊記のない初版早印本。自序及本文の版下は其角自筆。少染み、表紙ならびに本文全丁に裏打を施すも虫食痕は少ない。「宅心知訓」他三顆旧蔵朱印有。写真版六頁参照

三 焦尾琴

其角編 元禄十四年序刊 三冊 三、五〇〇

前掲書より僅かに小さな半紙本。改装薄藍色表紙付、外題なし。刊記を欠くが版面より推して前掲書の後印本か。本文少染みあるも虫食はない。「友鳳子蔵書」（高橋友鳳子）等旧蔵朱印有。写真版六頁参照

和本

三 風俗文選犬註解

葎甘介我著并蔵版 玉井泉流等画
嘉永元年序刊
原裝上本 一部淡彩色刷入

五冊 110,000

美濃判。元の菊唐草模様 of 空押入り藍色表紙に元題簽「風俗文選犬註解 序列伝（壹・貳之上・貳之下・參）完備。本文数丁下部に少虫食あるはかは保存良い上本。芭蕉及門下の俳文集『風俗文選』（初題は「本朝文選」）の最初の注釈書で、刊行されたのは全十巻の内の巻一〜巻三。以下巻四〜十は稿本のままに終わり、天理綿屋文庫に現存することが知られる。三顆旧蔵朱印有。
写真版七頁参照

三一 茶 百 話

玄武坊述 其水等編
天明七年刊 斯文楼蔵版
俳論

一冊 二四,000

美濃判。元の藍色表紙（縁に少補修有）に元題簽「俳／諧 一茶百話 全」付。巻初に口絵半丁、本文挿絵半丁有。「三類贅ノ口義」をはじめとする玄武坊の著述を其水らがまとめて刊行したもの。一部に朱の傍点書入れ、二顆旧蔵朱印有。写真版六頁参照

三 俳諧第一義集

鼻中庵三力著 寛政二年刊
社中蔵版 洪川清右衛門等版
俳論

二冊 三六,000

美濃判。元の空押模様入り白茶色表紙中央に元題簽「俳諧第一義集 乾（坤）」付。乾巻々頭に芭蕉肖像画入り。一部欄外に少虫食有。写真版七頁参照

三 蘆の 一もと

田喜庵護物輯并蔵版 北斎為一画
文政十年刊 鶴屋喜右衛門版
芭蕉「幻住庵記」注釈

一冊 四六,000

美濃判、元の布目模様丹表紙中央に二元題簽「安詞乃比斗茂渡 全」、水色元見返し付。本文一部に少虫食あるも保存は良好。北斎為一の口絵および挿絵入り。末に蔵版印、および裏見返しに田喜庵の著述目録入り。「酒汀」の旧蔵茶印、「亀尾」及「英四郎」の旧蔵朱印（共に所用者不明）有。写真版七頁参照

三 狂歌不卜集

便々館湖鯉鮒編 文化元年跋刊
永楽屋東四郎版

二冊 五、五〇〇

中本。元の布目白茶色表紙（擦れ有）に藍色元題簽「狂歌不卜集 上（下）」（少擦れ）付。本文保存良好。「更級神庫神主藤原」（所用者不明）他三顆旧蔵朱印有。写真版七頁参照

三 俳諧歌清涼集

狂歌堂撰 北溪画 天保十二年序刊
鹿都部真顔追善狂歌集

一冊 三、四〇〇

半紙本。元の薄水色表紙に題簽剥落跡有。文政十二年に他界した鹿都部真顔の十三回忌に当たたる天保十二年に編まれた追善狂歌集。北溪画による色刷の真顔肖像画半丁及び連の口絵一丁入り。巻末に「清涼集作者国分到来順」四丁有。本文下部の少虫食を補修済み、薄い水染み有。写真版七頁参照

三 狂歌列仙画像集

五車亭龜山撰 北斎・北雅画
江戸後期刊

一冊 二五、〇〇〇

仮綴じの半紙本。オモテに「狂／歌 列仙画像集 全三冊／●總連」、ウラに「撰者 五車亭龜山／画圖 先北斎為一／筆者 包喜園廣好／刻師 玉光舎占正」と刷る共紙の表紙付。尚内題は「狂歌列仙傳」。丁付なくオモテに「北斎改／為一筆」と落款のある口絵一丁に続いて一〜十・十二・十三の丁付ある口絵、一〜十一・十一〜四十九の丁付ある本文（挿絵四丁を含む）よりなる。刊記はない。表紙ウラに「画圖 先北斎為一」と刷るも、口絵のうちの一回に「北雅筆」、又本文挿絵のうちの一回に「為一門人／北雅画」と落款があり、残る無款の絵十数図についても精査を要する。尚、各所に残る伝本は各々丁数や構成が異なっており、表紙に刻される「全三冊」の意味と共に研究が俟たれる。数丁に僅か虫食あるも刷り保存共は良好。写真版八頁参照

三 画口合瓢之蔓

雲和亭湖龍撰 松川半山画
嘉永四年刊 翠栄堂蔵梓
灘屋為七等三都五書肆版
雄俳 彩色刷入 原裝上本 少虫食有

三冊 四八、〇〇〇

半紙本。元の八つ瓢立浦紋黄色刷り表紙に瓢簪繋ぎ紋紅刷元題簽「畫口合瓢之蔓 上（中・下）」、紅・黄色刷入元見返し完備。色刷口絵、又本文にも淡彩色刷りを施す。一部に少虫食あるも刷り・保存共は良好。のちに本書の挿絵部分のみを抜出し再構成して刊行されたものに「地口行燈」及「半山画譜」のあることが知られる。写真版八頁参照

三 茄子腐藁

可々子著 明和七年刊
藤屋弥兵衛・銭屋惣四郎版
狂詩 原裝元題簽付 保存良

一冊 一六、〇〇〇

写真版七頁参照

四〇 謡

本六十九番

江戸初期写
一番綴 節付あり
伝福王家旧蔵
下掛本

六帖一、六〇、〇〇〇

二二・八×一九・二種の綴葉装。全帖に元金の金泥下絵入り濃紺色表紙、金泥下絵入りの元題簽、金紙見返しを付す。料紙は厚手の斐紙で、濃色のものを用いた帖が多数を占める。本文每半葉六行、数種の筆跡よりなる。下掛りの本文を有し、いわゆるゴマ点のほか、朱の記号(●・○・□・上・中・下など)、又一部の語句に朱の振りガナも見受けられる。奥書はない。近代の添え紙に「福王家伝来」とあるも、旧蔵印など一見してそれと判るものは見当たらない。かつてはさらに大部であったものが時を経て当該六十九帖となったと思われるが、金を用いた贅沢な装丁や大字にてゆったりと書写された本文は鑑賞に値する。惜しくも三十帖に綴じ糸切れ、又「半部」の一帖のみ題簽を欠く。全帖が収まらない後代の慳貪箱(少破損)を付す。写真版八頁参照

四一 女大名東西評林

宝暦八年刊
丹波屋半兵衛・増田屋源兵衛版
浄瑠璃評判記 虫食多

一冊 三、〇〇〇

大きさ一五・七×九・一種の小型縦長本。元の藍色表紙(擦れ・虫食有)に書題簽「太夫／三味線／人形 評判記」付。本文やや虫食多いが刷りは良好。「檜崎文庫」(檜崎海運)、「骨董舎」(咸亨堂)の旧蔵朱印有。写真版九頁参照

四二 けいせい羅衣辻

笠縫専助・斎馬雪作
〔天明三年〕市村座刊
絵本番付 原装

一冊 四、八〇〇

中本。元の共紙表紙付、オモテ表紙中央に座元の紋および「けいせい羅衣辻」を刻す。表裏とも後補の渋引き表紙にて覆ってある。本文は見返しを含め八丁、絵師名はない。一部下部に僅か虫食あるも刷り保存共はば良。写真版九頁参照

四三 男山娘源氏

笠縫専助・瀬川如皐作
〔天明五年桐座〕刊
絵本番付 原装

一冊 三、五〇〇

中本。元の絵入共紙表紙付、オモテ表紙中央に「男山娘源氏」を刻す。表裏とも後補の雲母刷模様表紙にて覆ってある。本文は見返しを含め六丁、絵師名はない。半丁絵に色差しあるも刷り保存共はば良。写真版九頁参照

和本本

四四 雲井花芳野壮士

金井三笑作 豊九画
〔天明六年中村座〕刊
絵本番付 原装

一冊 三、八〇〇

中本。元の絵入共紙表紙付、オモテ表紙中央に座元の紋および「雲井花芳野壮士 中村座」を刻す。表裏とも後補の丹表紙にて覆ってある。本文は見返しを含め六丁。刷り保存共はば良。写真版九頁参照

四五 望諸礼集

小笠原長時・貞慶編 寛永十年刊
七卷合本 図入

五冊 一三、〇〇〇

「渡部文庫珍藏書印」(渡部信)、「儀部」(所用者不明)、渡辺家巻一と巻二、また巻五と巻六を合本。本の大きさと二六・三×一八・六種。元の空刷入り丹表紙付、題簽剥落跡の上から書名を墨書き。本文保存良。「渡部文庫珍藏書印」(渡部信)の船型朱印、「儀部」(所用者不明)の黒印有。写真版九頁参照

四六 神風小鑑抜書

〔秦貞恒〕著
寛保三・延享三年中里任重(常守)写
神社・地誌 同後編抜書共 図入

二冊 三、五〇〇

美濃判。墨流し表紙に本文と同筆の書題簽「神風小鑑抜書 全」「神風小鑑後編抜書」付。本文は本編二十五丁、後編二十三丁、「山田町之図」「内宮殿舎古代之図」「両宮撰社御在所之図」などの図入り。一部に少虫食有。兩冊とも巻末に中里任重(常守)の書写奥書「此書并圖書者正徳三季癸巳秋九月秦貞恒書神風小鏡(ママ)之抜書也/自高田氏同苗恩借而一閱見予於此写之/ 寛保第三癸亥冬十二月 中里任重(言斎)の朱印有」、「此神風小鑑後編抜書者正徳五年秦貞恒著編也岡伯高丈/本以寫之校合●(一字不明)/ 延享三年冬至衣垣翁(中里子)「任重之印」の朱印有」がある。中里任重(常守)は伊勢松阪生まれ、江戸時代中期の国学者で伊勢の地理・歴史に関する考証を行なった人と云い、当該書もあるいは彼の仕事に用いられたものかと思われる。「穴戸昌蔵書記」(穴戸昌)等旧蔵朱印有。写真版九頁参照

四七 〔神〕内講聞書

文化二年藤原久武写
漢字片仮名交じり文 筆彩色絵入

一冊 二七、五〇〇

半紙本。翡翠色表紙に「神●内講聞書」と読める書題簽(●の一字不詳)付。内題及尾題なし。本文墨付二十一丁半、漢字片仮名交じり文(漢文半丁(附訓入)あり)。「日本」「神国」「震旦国」「鬼人国」「月氏国」「畜生国」「天照大神」「磐戸ノ段」「素戔鳴尊ノ歌」「日蓮出生ノ事」の各項目よりなる。うち「日本」の項に「國常立尊」、「震旦国」の項に「盤古氏」、「月氏国」の項に「薄伽梵」の各図が筆彩色入りで挿入されている。裏見返しに本文と同筆で「文化二丑八月/ 甲斐國巨摩郡/ 折居住人/ 藤原久武」の奥書有。写真版一〇頁参照

和本

哭頭書 訓蒙図彙大成

中村楊斎編 下河辺拾水画
寛政元年刊 九皇堂谷口勘三郎等版
事典 二十一巻目録一卷揃 合本版
上刷

五冊 七、〇〇〇

半紙本。元の浮線綾文様の空押入り藍色表紙に元題簽「増補／頭書 訓蒙図彙大成 一（五）」元見返し付。第一冊に序目・巻一・二・三、第二冊に巻四・五・六・七・八、第三冊に巻九・十・十一・十四・十五・十六、第四冊に巻十二・十三・十七・十八・十九、第五冊に巻廿・廿一を収め、錯巻はあるが揃っている。本文一部に少虫食、半丁に僅か墨染みあるほかは刷り・保存共良い。「吉澤聚湊」（所用者不明）の旧蔵朱印有。写真版一〇頁参照

哭 能島流水軍書一括

江戸後期上写
筆彩色図多数

一五冊 四八、〇〇〇

半紙本よりやや大、一二・三・五×一六糎。薄い洪引き表紙に書題簽（二冊のみ剥落あり）付。『能島流制作之巻』三巻附巻一卷四冊、『能島流船江制作之巻』一冊、『能島流船術之巻』二冊、『能島流船規之巻』一冊、『能島流兵制之巻』一冊、『能島流軍儀（議）之巻』一冊、『能島流備立之巻』一冊、『能島流水戦之巻』二冊、『能島流火戦之巻』一冊、『能島流中之伝奥意陰巻利弁問答』一冊よりなる。奥書はない。野島流は瀬戸内海の海賊として著名な村上一族のうち能島（伊予・現・愛媛県）を根拠地とした能島村上氏の水軍戦法。船及び船江の制作から、規範、装備、戦法に至るまでを筆彩色入りの図を交え丁寧記している。伝本所在少ない。一部に薄い水染み、少虫食あるも保存は良好。「山上蔵書」（山上八郎）、「原氏文庫」（所用者不明）の旧蔵朱印有。

写真版一〇頁参照

吾 官 新刊輿地全図

佐藤政養訳図 文久元年刊
萬屋兵四郎發兌
佐野鼎・杉徳輔（孫七郎）旧蔵
木版彩色刷 特装 美

一舗 四八、〇〇〇

大きさ一三八・五×一三七糎。元の板表紙中央に元題簽「官許 新刊輿地全圖完」完備。版元印のある見返しを有する洪引き表紙（元題簽付）の元帙を付す特装極美品。竹口瀧三郎・上村福三郎による繊細な彫りのきわだつ上刷本。図の周囲に世界の主な都市・山川などの統計一覧や、日本および多数の世界各国旗、勝義邦（海舟）序文などを掲載、凡例には本図の原因は一八五七年のオランダ製の航海用地図との記載がある。なお、元帙のおもて表紙に「加州佐野鼎所贈／長州杉徳輔蔵／元治紀元晩春十四日／江戸城客中記」の墨書があり、共に文久元年遣欧使節に随行した両名の交誼がうかがえる。写真版一頁参照

五 地球全図略説

司馬江漢著 幕末頃刊
絵入 外題「萬國略説」 原装上本

三冊 一六、〇〇〇

美濃判。元の空押模様洪引き表紙に黄色元題簽「萬國略説 上（中・下）」、「地球全圖略説 全／東都書肆 合刻」の文字のある鼠色元見返し完備。刷・保存とも良く、入紙を施した上本。「地球全圖略説」は江漢著「地球図」の解説書として刊行され、寛政四年の初版を筆頭に数種の異版が確認されている。本書はその寛政版を大幅に増補し幕末頃に刊行されたもので、この版を覆刻したと思われる版もまた存在することが知られる。写真版一〇頁参照

吾 北 越 雪 譜

鈴木牧之著 山東京山校 京水画
天保七・十三年刊
初編三冊・二編四冊揃 薄墨刷入

七冊 四六、〇〇〇

初編・二編とも元の雪花模様色刷表紙に元題簽（少擦れ）、黄色元見返し（少破れ補修済み）付。初編は天保七年刊、大坂河内屋茂兵衛・江戸小伝馬町丁子屋平兵衛版。二編は天保十三年刊、大坂堺屋新兵衛・河内屋茂兵衛・江戸小伝馬町丁子屋平兵衛版。井上慶隆「北越雪譜」複製本解説によると、本書は「河丁本」の内、初編は「一類」（初刷）、二編は「堺一類」（二刷、本文は改刻なく初刷と同版）で、古い取合せ本と見受けられる。本文一部に僅か虫食、初編中巻の三丁ほどに染みがあるが、両編とも刷りは良い。写真版二頁参照

吾 日光東照宮靈廟之図

天保三年源守緒写
紙本彩色

一舗 四、五〇〇

大きさ一五×八四糎。近代の候補紺表紙に書題簽「日光東照宮／靈廟之図」付、内題はない。図の左下部に「天保三壬辰年六月中旬／源守緒謹寫之（壺型朱印あり）」の奥書がある。「増田文庫 MASUDA」（所用者不明）の旧蔵朱印有。写真版一頁参照

吾 非常便要図

寛政四年作
紙本彩色上写 少虫食補修有

一舗 七、五〇〇

図の大きさ三八・三×五二・七糎。元と思われる空押模様入り藍色表紙中央に「非常便要」の書題簽付、内題なく仮に名づく。寛政四年閏二月になされた若年寄京極備前守高久の書付による申渡し「御門番火之番之面々出火之砌各登城致候得者／人数召連被相詰候得共以来／御城近所出火亦者格別大火之外者上野増上寺／或者御三家方御屋敷等出火ニテ登城致候共／不及相詰候間此段可被達候」にともない作成された図で、江戸城近辺の大名及旗本屋敷にて火災が起こった際、老中ならびに若年寄が登城する範囲を紅、「仰合之上」登城する範囲を黄で色分けし示している。小さな旗本屋敷にも各々名が書き入れられた丁寧なつくり。写真版一頁参照

武蔵第一名所角田河絵図並故跡附

野々山緑山画
江戸後期刊
少虫食補修有

一鋪 三、五〇〇

大きき三二・七×七〇・七種。藍色表紙(少虫食)に書題簽「東都向嶋圖并古跡附」付。隅田川流域の名所旧跡を記した絵図。「深井氏蔵」(所用者不明)の旧蔵朱印有。写真版一二頁参照

横浜毎日新聞 第四百五十九号

明治五年五月廿六日
表裏全四面 活版刷

一枚 四、〇〇〇

紙面の大きき三七・二×二六・五種。題字は最上部に「横浜毎日新聞」とあり下に号数および発行年月日、余白部分に「官許」の朱印が捺される。日付(和暦ならびに陽暦・曜日・気温(華氏))に続いて両替相場、碇泊船数、入港船名、輸出入物価などの経済情報や、広告その他ニュースを収める。「出奔犬」、今でいう迷い犬を知らせる記事もあり興味深い。保存良。写真版一二頁参照

横浜毎日新聞 第五百九十二号

明治五年十月二十七日
片面刷二面 活版刷

一枚 四、八〇〇

紙面の大きき五一・七×三三・二種。題字は最上部に「官許 横浜毎日新聞」とあり下に号数および発行年月日を配する。日付(和洋の各暦)・曜日・気温(華氏)に続いて碇泊船数、両替相場、入港船名、広告その他を収める。輸出入物価の記載はなく国内ニュースの記載部分が多い。保存良。写真版一二頁参照

美濃郡県人跡路程図

児島禎識
木版彩色刷

一鋪 六、五〇〇

四五・五×六三・五種。元の白茶色表紙中央に元の刷題簽「美濃郡縣人迹路程圖」付。主要な地名のみでなく細かな地区名まで記されている。図の周囲には「美濃郡縣人跡路程圖説」と題して各郡の地誌が余白を埋め尽くすほどに記されている。下部に凡例があり末尾に「文政六年癸未仲冬児島禎識」と刻す。保存良。写真版一二頁参照

不知火考

中島広足著 天保六年跋刊 十千堂蔵版
江戸英大助・大坂秋田屋太右衛門版
色刷口絵入

一冊 五、〇〇〇

美濃判。元の藍色表紙に元題簽「不知火考 全」、元見返し付。末数丁欄外に少虫穴あるも保存はば良。見返しにやや大型の旧蔵朱印「左京住人麻舎蔵書」(所用者不明)あり。本書は末尾の目録に「火國の名におふ火の事をくはしく國史に考へ今見る所のさまを記し世の傳説の誤を正されし書之」と概略が載る。当該書は長崎・十千堂立身屋萬兵衛蔵版并刊行ののちに江戸英屋・大坂秋田屋の二書肆により刊行されたものとみえ、見返し「長崎」の文字や「不知火出處海陸地理之圖」に朱刷で示される不知火の形状に異同が見られる。

写真版一〇頁参照

西行物語絵巻三

江戸後期写
伝橋千蔭手沢本

一冊 四、八〇〇

四ツ目綴じの美濃判。オモテは共紙、ウラは萌黄色の表紙。外題は本文と同筆で「西行物語」とある。本文楮紙、墨付二十三丁。内容はいわゆる「采女本系」の『西行物語絵巻』全五巻のうちの巻三にあたり、詞書および簡略的に書写した挿絵よりなる。ウラ見返しに本文と別筆で「右西行物語橋千蔭翁手澤ノ本也」の墨書きがある。保存良。写真版一三頁参照

佐州金山鑿穿之図

江戸後期頃写
紙本彩色 長巻

一卷三、〇〇〇

本紙の紙高二六・七種、一回り大きい紙で裏打を施し卷子に仕立てる。綴子表紙に金紙書題簽「佐州金山鑿穿之図」付。内題同じ。奥書なし。坑内図より始まり、鍛冶小屋、四留番所、鉦山町、金銀の勝場、銅の勝場、浜流、小判所、後藤座までの図を収める。なお西三川砂金山図はない。用具や人々の装いなどから江戸中後期の様子を描いたものと思われる。詞書の類はなく、筆彩色が施された絵図のみで構成されている。部分的に巻皺があるも虫食はなく、保存は良好。「佐州金山鑿穿之図」吉村蔵」の箱書がある古い桐箱に収まる。写真版一三頁参照

費漢源山水画式

費漢源撰 鈴木芙蓉模画 寛政元年刊
須原屋茂兵衛版

三冊 五、八〇〇

美濃判。元の水縹色表紙に黄土色元題簽「費漢源山水画式 上巻(中巻・下巻)」完備。扉題「山水画式」、序題「費氏山水画式」。本文刷り・保存共に良好。写真版一四頁参照

三楠亭画譜

西村楠亭画 享和四年刊
著屋儀兵衛等版
賀茂季鷹・桃李園栗間戸・繁雅等狂歌入

三冊 六、〇〇〇

美濃判。元の空刷模様入り藍色表紙に元題簽「楠亭画譜 上(中・下)」付、但し中巻の裏表紙一枚を欠く。本文僅か虫食、下部少手擦れ汚れあり。写真版一四頁参照

名数画譜

大原東野編 文化七年刊
紀澤南嶺館蔵版
上刷一部分色刷入

四冊 一三、〇〇〇

美濃判、元の黄色表紙に元題簽「名数畫譜 天(地・人・附録)」、藍紙元見返し「名数畫譜」(「南嶺館圖書記」の蔵版印有)付。又末の刊記半丁にも「南嶺館記」の蔵版印がある。刷り・保存共良好。刊記に書肆名が刻されておらず、又本文中に点在する印影も濃く、早印本か。写真版一四頁参照

和本

文鳳画譜三編

河村文鳳画 文化十年刊
淡彩色刷 全三編の内

一冊 七、〇〇〇

河内屋喜兵衛・吉田屋新兵衛版。美濃判。元の空刷入鈍色表紙に藍色元題簽「文鳳畫譜三編」付。本文一部欄外に僅か虫食あるも保存はば良。末に「文鳳画譜初編二編三編各一冊」の記述ある吉田新兵衛蔵版目錄二丁を附す。

写真版一四頁参照

日本奇人伝

花笠文京著 歌川国芳画 嘉永頃刊
山静堂山崎屋清七等版
上下二巻合本 薄墨刷入

一冊 一六、〇〇〇

半紙本。上巻の元表紙（紗綾形紋空押入り丹表紙）に黄色元題簽「日本奇人伝全（上）」と刷られた文字に墨書きを加え修正。「花笠翁填詞／國芳崎人物／山静堂記」と刷る元見返し付。「繪本勇美崎人物序」と題する自序一丁半。本文は見開き三十二図、片面三図。下部に少し手擦れ汚れ、巻頭数丁に極薄い水染みあるも虫食なく保存はば良。実在もしくは架空の古今の著名人を数名ずつ取り合わせ描き、余白に文京の戯文を配したものの。末には本書の画者国芳をはじめ、英泉・豊国・北斎・馬琴が描かれる。なお、本書は天保三年に刊行された絵入狂歌本『古今崎人伝画像集』の挿絵部分の版木を流用、絵の一部に国芳本人が加筆修正を施し作成されたものであることが知られており、本文中にある「英泉下に棲（すみか）をうつせり」の一文から、英泉の没年嘉永元年より後の刊行と推定されている。写真版一四頁参照

英名百雄伝初・二・三編

近沢幸山撰 貞秀画 文久三年刊
若林屋喜兵衛・小田原屋弥七梓
淡彩刷入 揃

三冊 九、五〇〇

中本。元の桐・瓢箪紋の空押入薄藍色表紙に黄色元題簽（少擦れ）、薄墨刷入元見返し完備。各冊色刷口絵入。料紙に布目空押刷を施す。数丁に少虫食あるほかは刷り、保存共はば良。写真版一五頁参照

一掃百態

渡辺崋山画 明治十二年刊
渡辺謙蔵版
淡彩色刷入 環屋正兵衛等版

一冊 六、〇〇〇

美濃判より一回り大きく、元の香色絹表紙、紅色元見返しを有する特製本。未の刊記に「定價金壹圓」の朱印ならびに蔵版印、又彫師豊原堂の名の下にも朱印あり。本文一部僅か虫食あるほかは刷り・保存とも良好。写真版一五頁参照

太平記英 宅間玄蕃允守益

柳下亭種員記 国芳画
嘉永頃刊 山本屋平吉版
保存はば良

一枚 四、二〇〇

写真版一五頁参照

太平記英 千場田修理進辰家

柳下亭種員記 国芳画
嘉永頃刊 山本屋平吉版
縁に僅か傷みあるも保存はば良

一枚 四、二〇〇

写真版一五頁参照

太平記英 合郷基左衛門久盈

柳下亭種員記 国芳画
嘉永頃刊 山本屋平吉版
縁に少傷みあるも保存はば良

一枚 四、〇〇〇

写真版一五頁参照

太平記英 四王連左司馬頭政高

柳下亭種員記 国芳画
嘉永頃刊 山本屋平吉版
縁に少傷みあるも保存はば良

一枚 四、〇〇〇

写真版一五頁参照

太平記英 荒儀撰津守村重

柳下亭種員記 国芳画
嘉永頃刊 山本屋平吉版
縁に僅か傷みあるも保存はば良

一枚 四、八〇〇

写真版一五頁参照

曾我絳侠御所染

国貞画
元治元年刊 伊勢屋鉄次郎版
三枚続 少トリミング

一組 四、二〇〇

写真版一六頁参照

横浜本町港崎町振分双六

五雲亭貞秀画 万延元年十月刊
糸屋庄兵衛版
横浜浮世絵 木版彩色刷 袋なし

一枚 三、〇〇〇

大きざ七三・七×四九・五糎。全体薄くヤケ、欄外少傷み補修あるも刷り・保存共はば良。港崎遊廓の揚屋や商店を巡る趣向。店先に「横浜繪圖／五雲亭画」と本図の絵師五雲亭貞秀の広告をかかげる絵草紙屋新栄堂も描かれている。写真版一六頁参照

六 武州横浜於応接所饗応之図 嘉永七年頃刊 瓦版 三色刷入 一枚 一六、〇〇〇

四七・七×三四・二種。絵に施された色刷に少褪色あるも保存は良好。ペリーの二度目の来航時、嘉永七年二月十日に横浜の応接所にて催された饗応の想像図とその献立。末に「右仕出し江戸浮世小路百川茂左衛門金貳千両にて仕差上申候以上」と刻す。写真版一六頁参照

七 飲食養生鑑 江戸後期刊 木版彩色刷 元袋付 一枚 三〇、〇〇〇

大きき五二・四種×三八・五種。絵師名・版元名、改印はない。僅か虫穴あるも刷りは良好。色刷絵入の元袋を付す。写真版一五頁参照

八 泥毛利家上杉家上屋敷 江戸後期頃作 紙本着色 無題 額装 二面 六〇、五〇〇

大きき二二・五×三〇・五種。視眼鏡用に反転して描かれている。写真版一六頁参照

九 米庵藏筆譜 市河米庵編 天保五年刊 大学堂開雕 二冊 七五、〇〇〇

唐本を模したやや縦長の美濃判に、これも唐本風の本文料紙。元の黄色表紙に元題簽（共に擦れ有）、「米庵先生纂／藏筆譜／天保甲午夏 尾陽大學堂開雕」と刷る紅色元見返し付。米庵蔵の唐筆二百十余を彩色刷入りで描き、考証を付したものの。一部に折目切れ、数丁に僅か虫食あるも刷り、保存共良。一「鉄道人」一「富岡氏蔵書記」（富岡鉄斎）、「鬼洞文庫」（出口神暁）、他三顆旧蔵朱印有。写真版一六頁参照

一〇 築山之書 弘化三年奥山盤里写 庭園図入 一冊 三六、〇〇〇

美濃判。薄藍色表紙（擦れ）に書題簽（擦れ有）、「（築力）山々水書 圖」と読めるか。付。墨付全十丁、「築山之書」と題する享保三年高橋忠兵衛宛て伝書の写し四丁（漢字片仮名交じり文、語の一部に朱の振ガナあり）、「東向」「南向」「西向」「北向」「蓬萊吉」「蓬萊之圖」「満海之圖」「可忌石」の、薄墨を用いた寧に描かれた各図六丁よりなる。裏見返しに「奥山盤里写 朱印（平茂美印）」／弘化三丙午年吉辰 蔵主 松川源右エ門三伯 朱印（森三伯）」の奥書有。一部に薄い水染みあるも保存は良好。書写者の奥山盤里は会津の絵師で萩原盤山の門に学んだ人物と云う。写真版一七頁参照

二 庭相秘伝書 江戸後期刊 図多数 一冊 八、〇〇〇

美濃判。改装黄土色表紙、ウラに本文と同筆と思われる書題簽「庭相秘傳書全」を貼付する。本文墨付二十八丁、薄い水染み、「梅原村蔵」（所用者不明）の旧蔵朱印有。写真版一七頁参照

三 製葛録 大蔵永常著 有坂北馬画 文政十三年刊 河内屋長兵衛等版 一冊 六、〇〇〇

半紙本。元の布目模様水色表紙（少擦れ傷み）に元題簽（少破れ）付。本文一部少虫食、一図に押印あるも刷は良好。巻末に葉広告三丁有。「蒼軒文庫」（小泉蒼軒）他数顆旧蔵朱印有。写真版一七頁参照

三 竹実記 白雲山人著 菱川清春画 天保三年刊 金屋吉兵衛梓 一冊 三、八〇〇

半紙本。元と思われる笹模様刷入桃色表紙（少擦れ）に後補書題簽、絵入元見返し付。本文十一丁半、うち挿絵見開き三図入。末に刊記半丁有。数丁に僅か虫穴あるも保存は良好。「残花書屋」（戸川浜雄）の旧蔵黒印有。写真版一七頁参照

四 本草図譜 岩崎常正（灌園）著 大正五十年刊 本草図譜刊行会版 索引共揃 和装木版及活版 彩色刷入 五冊 一六、〇〇〇

美濃判、元の白茶色表紙に元題簽・元見返し付。わが国で最初の本格的な植物図鑑で、文政十一年に全九六巻（巻一〜四は未完、九二冊）が完成した。このうち巻五から巻十までの山草・芳草部六冊が同十三年に出版されるも費用の面で以後かなわず、他の巻は原本を模写したものを予約制で希望者に配本したと云う。本書はそれから百年近く経た大正十一年に本草図譜刊行会により全冊の刊行が成されたもので、多色刷りの木版技術を駆使した精密で美しい図譜である。写真版一七頁参照

五 古今菓子大全 長谷川良隅編 鶏鳴画 己亥（天保十年）序刊 図入 一冊 三、〇〇〇

中本。元の布目空押模様白茶色表紙中央に紅色元題簽「古今／新製 菓子大全上」、藍刷絵入元見返し付。巻頭数丁下部に少虫食、本文挿絵に色差しあるも保存は良好。本書は宝暦十一年刊「古今名物御前菓子図式」の、序題及年記を改刻し、「蔵玉和歌集」中の一首が入った色刷口絵（鶏鳴画）半丁と漢文序半丁を新たに付して改題刊行したもの。尚欠如する下巻も同様に享保三年刊「古今名物御前菓子秘伝抄」を改題刊行したものと云う。写真版一七頁参照

和本

六 拳会角力図会

義浪・吾雀編 松好斎画 桃溪校
文化六年刊 村田屋治郎兵衛・河内屋 二冊 一三、〇〇〇
太助版

高藏纂集筆工、鉄格子画賛狂歌。美濃判。元の水色表紙、上巻に元題簽「拳会角力圖會 上」、下巻に後補書題簽付。本文一部に少虫食、下部少手擦れ汚れあり。「上田文庫」（上田恭輔）、「大橋」（所用者不明）の旧蔵朱印有。
写真版一八頁参照

七 ぢんてき問答

江戸中期刊 鱗形屋孫兵衛版
絵入 一冊 八、〇〇〇

一八・九×一三・二種の中本。改装古い栗皮表紙付、外題なし。内題「ぢんてき問答」、柱題「てき」。四周単辺、每半葉十五行。挿絵は全十六図、各図半丁の三分の一ほどの大きさ。本文少後印なるも保存はよい。
写真版一八頁参照

八 長命になるの伝受

〔脇坂義堂〕著 文化十四年刊
吉田屋新兵衛版
心学 絵入 裏打補修 二冊 一七、〇〇〇

半紙本。元の薄藍色表紙に元題簽「長命になるの傳受 上（下）」、候補見返し紙付。本文虫食裏打補修済み。挿絵に版元文徴堂吉田屋新兵衛の店先を描いた一図あり。下巻末に蔵版目録二丁を有する。写真版一八頁参照

九 女教万宝全書東鏡

明治初期頃刊 新潟・弦巻本店等版
往來物 厚冊 彩色刷口絵入 一冊 三〇、〇〇〇

厚さ六・七種的美濃判。空押模様并色刷絵入り白茶色元表紙に紅色元題簽「女教萬寶全書東鏡 全」付。彩色刷口絵二丁入り。本文一丁飛び丁あるも保存良。写真版一八頁参照

一〇 女教大全姫文庫

明治初期頃刊 敦賀屋九兵衛版
往來物 厚冊 序及彩色刷口絵一丁欠 一冊 二七、五〇〇
色刷元袋付

厚さ六・三種的美濃判。空押模様并色刷模様入り白茶色元表紙中央に飾り枠刷の紅色元題簽「百人一首／女教訓 女教大全姫文庫」付。序及び彩色刷口絵二丁のうちの二丁を欠くか。本文の保存はほぼ良。色刷絵入の元袋付。
写真版一八頁参照

一〇 百人一首姫小松

明治初期頃刊 大阪明玉堂蔵版
往來物 厚冊 彩色刷口絵入 一冊 一四、三〇〇

厚さ三・二種的美濃判。空押模様入り白茶色元表紙（少染み有）中央に紅色元題簽「百人一首姫小松 全」付。彩色刷口絵一丁入り。本文下部少手擦れ汚れあり。写真版一八頁参照

一一 梵曆策進

円通著 江戸後期刊
仏教天文学 漢字片仮名交じり文 一冊 三、二〇〇

半紙本。元の鼠色表紙に元題簽「梵曆策進 完」付。本文全二十五丁、有界、每半葉九行。僅か虫穴あるも保存はよい。キリスト教天文学（地動説）が日本にも輸入され広まりつつあることを憂慮し、須弥山説を基とする仏教天文学の正当性を論じている。写真版一九頁参照

一二 渾天新語

河野通礼編 文化六年刊
橋本徳兵衛等版 図入 二冊 四、二〇〇

美濃判。元の空押模様入り藍色表紙に元題簽「渾天新語 乾（坤）」付。本文巻頭に皆川淇園序文三丁入り。数丁に少虫食補修跡あるも保存はよい。
写真版一九頁参照

一三 密開宗

ウイリアム・ヘンリー著 宇田川裕庵
重訳 天保八年刊 須原屋伊八等版
内篇十八冊 外篇三冊 摘 淡彩色刷絵入 三冊 四六、〇〇〇
原裝上本

英国人ヘンリーの著作『An Epitome of Chemistry』（一八〇一年）の蘭訳本を、宇田川裕庵が自ら行った実験結果や独自の見解も加えつつ和訳したもので、日本初の体系的化学書として知られる。美濃判、元の空刷模様入緑色表紙に元題簽完備。一・四・七・十・十三・十六・外篇一の各冊に篇数印・版元印（加えて四冊に魁星印）のある元見返し、三・六・九・外篇三の各冊裏見返しに天保八年の刊記、十二・十五・十八の各冊裏見返しに須原屋伊八の發行目録がある。なお第六篇には見返しと同じ刷面の元袋付。本文に淡彩色刷一丁、又多数の薄墨刷絵入。二冊に少虫食、一冊に薄い水染みあるも刷、保存ともはよい上本。
写真版一九頁参照

一四 日本紀行訳本

ペリー原著 江戸末期写
上下二巻揃 一冊 六、七〇〇

半紙本。海松色表紙付、外題なし。序文二丁、本文上巻三十丁、下巻二十七丁よりなる。每半葉十二行、漢字片仮名交じり文。一顆旧蔵朱印有。
写真版一九頁参照

六 大方等大集月藏經 卷第一

高齊天竺三藏那連提耶舍譯
鎌倉後期頃刊か

一帖 二、二〇〇、〇〇〇

黃土色表紙左上部に「大方等大集月藏經卷第一」と打付け書き。紙高二八・八糎。本文天地界あり、高さ二四糎強。每半折六行、一行十七字。柱刻「陶月藏 一卷 二（十二）」あり。中国の南宋時代に開版された思溪版大藏經のうちの二巻、『大方等大集月藏經 卷第一』を、日本で模刻したもの。宋版原本のやや角ばった端正な書体を忠実に模刻する姿勢が見られるも、字画の「入り」「とめ」「はね」「はらい」などの形態に、和刻の特徴が所々僅かに垣間見られる。また、原本では糊代部分にある柱刻を、見える位置に彫りあらわしている点も和刻の特徴である。光明寺や樹下神社蔵本に代表される「春日版五部大乘經」とは別版で、当該書は天地界を有し原本の雰囲気をよく残す版面からも、あるいは日本における思溪版模刻の最初期の版にあたるものか。奥書等もなく出自不明で、研究が俟たれる。やや虫食あるも丁寧な補修済み。巻初に「寶玲文庫」（フランク・ホーレー）の旧蔵朱印有。蓋表に「古梓珍籍須愛護」朱印のラベル、蓋裏に「福堂清玩」（共に所用者不明）の旧蔵朱印のある木箱（一部破損）入り。写真版一九頁参照

七 〔禪家八十一則仮名抄〕

室町末江戸初期写
ノ式カナ抄 小汀利得旧蔵

一冊 三、〇〇〇

本の大きさ二八×二〇・五糎。後補の古い茶色表紙、外題なし。本文斐摺混ぜ漉き料紙。内題なく、後代の帙題「禪家八十一則仮名抄」を仮に充てる。初丁欄外に「綱山之●」（一文字虫損）と記した有界の目次が二丁、末にも余白に別筆で「館林之浮客龍微拜」、さらに「龍雲寺現住綱山和尚」の墨書きがある。本文は五十一丁。四周单边、無界、每半葉十三行書き。「雲門平地上死人無數」より「宏智古仏陞座」までの八十一章を収め、各章の初めには章番号が付されている。末に二字下げで「洞谷山永光寺 瑩山紹瑾註脚之末代為兒孫也到末字一削／望予處也 各乞処也／為吾兒孫者謹頂戴九拜添傳●可●録者也●●唱不可過之」（数文字虫損）とあり、本書は鎌倉時代末期の曹洞宗の僧、瑩山紹瑾の著になるものか。四周小口に少染み、又巻頭及び巻末の各数丁にある虫食痕を丁寧に補修済み。「小汀氏蔵書」「をばま」（小汀利得）の旧蔵朱印有。

写真版二〇頁参照

和 本

八 天台四教儀

高麗・諦觀錄 寛永三年極月刊
本能寺露閉版
応永二十六年原刊記あり

一冊 一六、〇〇〇

本の大きさ二八・三×二一・二糎。改装古い栗皮表紙左上に白墨で「四教儀」、また右下に同筆で「来善房」と書す。見返しに「宝幢寺什物（大黒）の黒印あり」の墨書、又巻頭に「大黒山蔵書」の旧蔵朱印があり出羽国山形宝幢寺のものか。本文全五十二丁、柱題「諦觀四教儀」保存良。末丁オモテに応永二十六年岐陽方秀による原刊記「高麗觀師四教儀其文約其儀／豊天梯妙旨●（般に正）無不盡本朝●（版力）／行既久然未見列改分科之者／不能無懺丹州比丘祖芳偶●（觀力）／科本命工鏤鉸捨常樂菴莊嚴／聖一國師品位所冀文義無礙／禪教羽忌入一心之玄門證三／德之秘藏應永己亥春王正日／前天竜岐陽方秀謹志」、又同ウラに「寛永三丙寅極月吉日此諦觀四教／洛陽於本能寺 開板露閉」の刊記がある。本書は応永二十六年刊本を寛永三年に本能寺の露閉が覆刻刊行したものかと推察されうるも、応永版は現時点で伝本の存在を確認できない（『五山版の研究』解題一九四番に載る『天台四教儀集解』（伝本は建仁寺大中院蔵の一本のみと云う）に本書と同様の刊記があるらしいが不詳。東福寺八十世、天龍寺六十四世、南禪寺九十七世を歴任、学問に秀でた岐陽方秀の思想・活動がうかがえる点でも注目される。写真版二〇頁参照

九 仏果圖悟真覺禪師心要

子文編 寛永頃刊
覆五山版 上下巻揃 少虫食

四冊 六、〇〇〇

美濃判。元の栗皮表紙（やや虫食有）付、外題なし。古い綴じ糸が残る。暦応四年版に訓点附刻を加えて出版されたもの。下巻末に「助縁 僧興乗／尼昌一／皆曆應四年十月日 臨川寺刊行」の原刊記を有し、寛永中の版行かと思われる。本文朱点書入れ、一部少虫食、少染み、「喜林庵」（所用者不明）の旧蔵朱印有。「臨洛録抄」の題簽ある合せ帙に収まる。写真版二〇頁参照

一〇 仏果圖悟真覺禪師心要

子文編 万治元年刊
暦応四年原刊記有 上下巻揃 少虫食

二冊 三、八〇〇

美濃判。元の栗皮表紙、左上に「圖悟心要 乾（坤）」と墨書き。暦応四年版に訓点附刻を加えて出版された前掲書より更に下る万治元年村上勘兵衛による版行。下巻末に「助縁 僧興乗／尼昌一／皆曆應四年十月日 臨川寺刊行」の原刊記を有する。本文一部少虫食、数顆旧蔵朱印有。写真版二〇頁参照

二

和本

二 仏果園悟禪師碧巖錄

江戶前期正保頃刊
十卷揃 訓点附刻 書入れ有

五冊 三、〇〇〇

美濃判。元の栗皮表紙（一部少疲れ）に元題簽「新／刻 碧巖集 一二（三四・五六・七八・九十）」、元見返し付。本文無野。見返しに「本朝濃州路瑞龍禪寺新刊」の原刊記を有するも、文明刊本及び寛永十七年刊本いずれの後印本でもなく中野是誰による新刻本、正保頃刊か。行間・欄外に書入れ多数、一部に少虫食あるも保存はば良。「羽州中野山長谷寺 岩松鐵栄」の旧蔵墨書有。
写真版二〇頁参照

三 感山雲臥紀談

曉登撰（寛永中）刊
覆五山版 少後印 上下巻揃

一冊 三、〇〇〇

美濃判。元の翡翠色表紙に元題簽「感山雲臥紀談」（全）と墨書き有。付。貞和二年版に訓点附刻を加え出版されたもの。上巻末に「禪尼源性速捨清材／命工鏤梓結般若縁」の原刊語、下巻末に「貞和丙戌三月吉日沙門明起／捨材命工鏤梓流通／板留平岳自快庵中／願一切衆臨生死海／乘般若舟速到彼岸」の原刊記を有し、寛永中の版行と思われるも刷りは少し後と思われる。本文朱点書入れ、僅か虫穴あるも保存はば良。一顆蔵印切取補修跡有。写真版二二頁参照

三 原人論發微錄

浄源述（寛永頃）刊
訓点附刻

一冊 三、五〇〇

二七・四×一九・九糎。元の栗皮表紙、左上に「原人論發微錄 全」と墨書き。内題「圭峯禪師原人論發微錄」。本文一部に染み、僅か虫食、朱点及び墨書入れ有。明暦版・万治版の元となった版と思われる。刊記はないが寛永頃の刊行であろうか。写真版二二頁参照

四 学道用心集

道元（寛文頃）刊
訓点附刻 水染み

一冊 二七、五〇〇

内題「永平初祖学道用心集」。縦長の美濃判。元の栗皮表紙に元題簽を僅かに残す。本文上部に水染み、少虫食、朱点及び墨書入れ有。「藤昇誠」・「舟崎昇誠」・「布施蔵書」の旧蔵朱印有。写真版二二頁参照

五 勸詞小筌

菅原智洞集成（明和六年序刊）
外題「真宗安心勸詞小筌」 真言 外題「真宗安心勸詞小筌」 カナ抄

三冊 一三、〇〇〇

美濃判。元の白茶色表紙に黄色元題簽付（一部破れ有）。本文一部に僅か虫食有。写真版二二頁参照

二 論語象義

三野象麓著 文化十年刊 観漁園蔵版
菱屋孫兵衛等版

七冊 一三、〇〇〇

大きめの美濃判。元の白茶色表紙に元題簽「論語象義 一（一七止）」、初冊に元見返し完備。本文数丁に少虫食あるほかは刷、保存ともはば良い。「読杜艸堂」（寺田望南）の旧蔵朱印有。写真版二二頁参照

三 孔子履歴考

角田九華著 嘉永二年刊 松根堂梓
加賀屋善藏等版 伝記 儒学

二冊 三、五〇〇

半紙本。元の白茶色表紙に元題簽「孔子履歴考 乾（坤）」、元見返し付。口縁に孔子像半丁入り。本文一部に少虫食あるも保存はば良。「山本氏蔵書」（所用者不明）の旧蔵朱印有。写真版二二頁参照

二 頭儒釈筆陣

独庵玄光・田中止邱文 富尾軒松執筆
天和二年刊 林伝左衛門蔵版 漢詩文

一冊 三、五〇〇

美濃判。元の黄土色表紙（少擦れ）に元題簽「頭／書 儒釋筆陣 全」付。本文書入れ有。保存良。玄光と止邱が論戦においてやり取りした書簡をまとめ、頭注をつけて刊行したもの。写真版二二頁参照

二 古列女伝

漢・劉向撰 承応二・三年刊
小嶋弥左衛門版 続・新続共揃 絵入 訓点附刻

二冊 二五、〇〇〇

正編及び続編八冊（承応二年刊）、新続編三冊（同三年刊）よりなる。二七・七×一七・一糎の美濃判縦長本。元の栗皮表紙に元題簽「劉向列女傳（一）（八終）」（第一冊の一枚のみ欠）、及び「新續列女伝 上（中・下）」付。本文刷り・保存共良好。「南楚」のやや古い旧蔵黒印あり。写真版二二頁参照

三 三体詩素隠抄

素隠 寛永十四年刊 西田勝兵衛尉版
ゾ式カナ抄 少虫食有

三冊 二四、〇〇〇

美濃判、元の空刷模様入藍色表紙（二部やや虫食）に元題簽「三体詩鈔（巻数）」付（二部擦れ破れ）。写真版二二頁参照

二 唐詩選五言絶句かるた

江戸後期刊 高山房版
読札・取札各七十四枚揃 原裝美品

一組 一三、〇〇〇

札の大きさ八・二×五・六糎。読札には題・作者・起句承句と詩にちなんだ絵を、取札は転句結句を刻す。なお共に札の左下に小さく「一（一七四）」と番号を刻す。裏面は薄藍色。各七十四枚を束ねるための元包紙（藍刷模様入り、中央に「唐詩選加留多」及「五言絶句」「高山房」の刷印有）を付す。又箱の蓋と本体との接合面には朱印「嵩山」の割印が捺されており元箱であることがわかる（他にも四顆の朱印又は黒印有）。状態良好、元箱及元包紙を有する伝本は稀である。写真版二二頁参照